

CD/DVD プレーヤー

DVP-S707D

取扱説明書

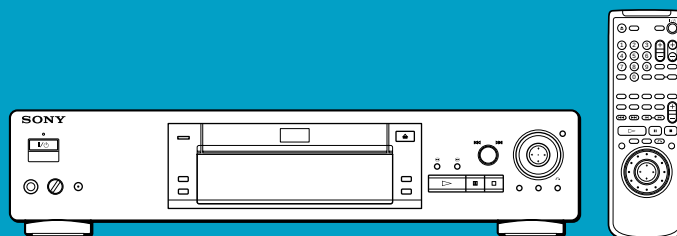
お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。10ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかりさし込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口修理にご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



強制



プラグをコンセントから抜く

目次

安全のために	2
△ 警告・△ 注意	4
電池についての安全上のご注意	7
この取扱説明書の使いかた	8
再生できるディスクについて	8
使用上のご注意	10
ディスクの取り扱い上のご注意	10

設置と準備 11

付属品を確認する	11
テレビとつなぐ	12
アンプとつなぐ	14
サラウンドシステムをつなぐ	16

再生する 18

ディスクを再生する	18
速さを変えて再生する/コマ送りする	20
再生を止めたあと、そのつづきから再生する (リジューム再生)	21
DVDのメニューを使う	22
プレイバックコントロール機能を使う(PBC再生)	23
表示窓の見かた	24

コントロールメニューでいろいろな 機能を使う 26

コントロールメニューを使う	26
コントロールメニュー画面項目一覧	28
再生するタイトル/チャプター/トラック/イン デックス/シーンを選ぶ	29
経過時間と残り時間を見る	30
タイムコードを使って場面を探す	31
ディスクの情報を見る	32
音声を切り換える	34
字幕を表示する	35
アングルを切り換える	36

デジタルシネマサウンドの設定をする	37
好きな順に再生する(プログラム再生)	39
順不同に再生する(シャッフル再生)	41
繰り返し再生する(リピート再生)	42
再生したい部分だけを繰り返す(A↔Bリピート)	43
再生の情報を見る	44
画像のざらつきを減らす(DNR)	45
画質を調整する(VIDEO EQ)	46
複数のアングルを同時に見る	47
連続した9つの場面を表示させる(ストロボ再生)	48
タイトル、チャプター、トラックを一覧で見る	48
お気に入りの場면을登録する/選ぶ (ブックマーク)	49

設定と調整 50

設定画面での設定/調整のしかた	50
設定画面項目一覧表	52
表示言語や音声言語の設定(言語設定)	53
画像に関する設定(画面設定)	54
視聴に関する設定(視聴設定)	55
音声に関する設定(オーディオ設定)	58
スピーカーの設定をする(スピーカー設定)	61
付属のリモコンでテレビやアンプを操作する	63

その他 65

故障かな?と思ったら	65
保証書とアフターサービス	68
自己診断機能について (アルファベットで始まる表示が出たら)	69
主な仕様	70
用語解説	71
言語コード一覧表	72
各部のなまえ	73
索引	76

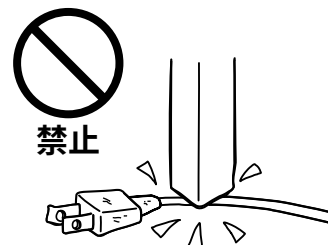


下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
 - 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
 - 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
 - 熱器具に近づけない。加熱しない。
 - 移動させるときは、電源プラグを抜く。
 - 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- ➡万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

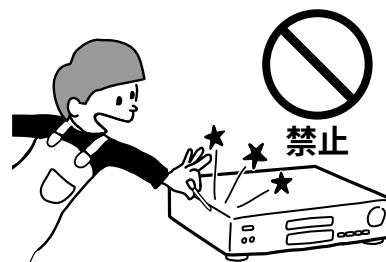
上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

- ➡万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

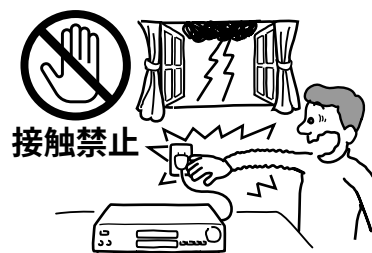
火災や感電、けがの原因となることがあります。

- ➡内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに 触れない

感電の原因となります。



本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

また、コンセントの定格を越えて使用しないでください。





下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり
周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

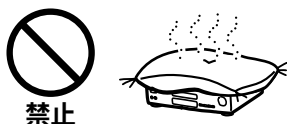
ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

→呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。



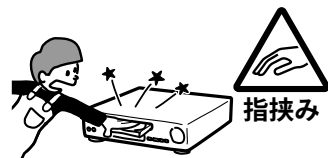
トレイの前に物を置かない

ディストレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。本体の前に物を置かないでください。



幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようご注意ください。



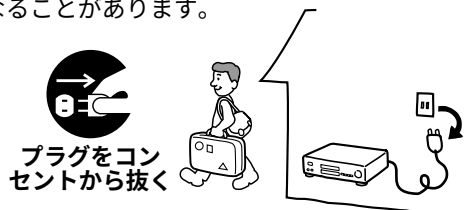
コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。



移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。



お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。



電池についての 安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱によるけがや失明を
避けるため、下記の注意事項を必ずお守り
ください。

⚠ 警告

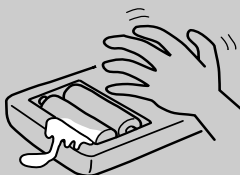
アルカリ電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。



接触禁止



必ず次の処理をする

→液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。



強制



→液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

→万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。



禁止



電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止



⚠ 注意

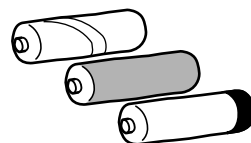
指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

→電池の品番を確かめ、お使いください。



禁止



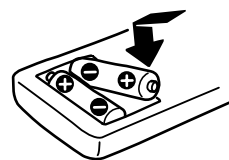
＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

→機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



強制

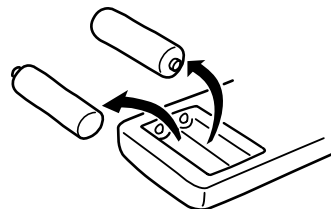


使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。



強制



この取扱説明書の使いかた

- ・「設置と準備」(11～17ページ) をご覧になって接続などの準備を済ませてください。
- ・基本的な使いかたは、「再生する」(18～25ページ) をご覧ください。
- ・さらに進んだ使いかたについては、26ページ以降をご覧ください。
- ・この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
	リモコンで操作します。
	知っていると便利な情報です。
	DVDビデオで使える機能です。
	ビデオCDで使える機能です。
	音楽用CDで使える機能です。

再生できるディスクについて

本機では次のディスクを再生できます。次のディスク以外は再生できません。

ディスクの種類	DVDビデオ		ビデオCD		音楽用CD	
ディスクに付いているマーク (ロゴ)						
記録しているもの	音声 + 映像		音声 + 映像		音声	
ディスクの大きさ	12cm	8cm	12cm	8cm	12cm	8cm (CDシングル)
最長再生時間	約4時間 (片面) 約8時間 (両面)	約80分 (片面) 約160分 (両面)	74分	20分	74分	20分

"DVD VIDEO" ロゴは商標です。

本機はNTSCカラーテレビ方式に対応しています。NTSC以外のカラーテレビ方式 (PAL、SECAM) 対応のディスクは再生できません。

再生可能なDVDの地域番号 (リージョンコード) について

DVDには  のように地域番号が表示されているものがあります。表示中の数字は再生できるプレーヤーの地域番号を表わしています。この表示に「2」が含まれていない、または  の表示のないDVDは、本機で再生できません。このようなDVDを再生しようとしたときは、「このディスクは地域制限により再生を禁止されています」と画面に表示されます。また地域番号の表示がないDVDでも地域制限されている場合があり、本機で再生できないことがあります。

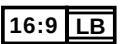
DVD、ビデオCD再生時の操作上のご注意

DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

再生できるディスクについて

DVDに表示されているマークの説明

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには以下のようなものがあります。それぞれのマークはそのディスクに記録されている内容や、使える機能を表しています。ただしそれらの機能が使えても、以下のマークが表示されていないDVDもあります。

マーク	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比を表します。
	再生可能な地域番号を表します。

ディスクに関する用語の説明

・タイトル

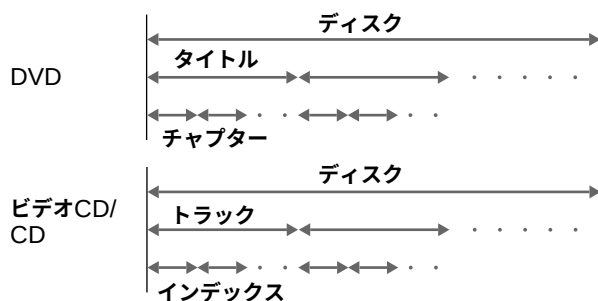
DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位です。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（あるいは1曲）にあたります。それぞれのタイトルに順に付けられた番号をタイトル番号といいます。

・チャプター

DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位をチャプターといいます。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されます。それぞれのチャプターに順に付けられた番号をチャプター番号といいます。ディスクによってはチャプターが記録されていないものもあります。

・トラック

ビデオCDやCDに記録されている映像や曲の区切り（1曲分）をトラックといいます。それぞれのトラックに順に付けられた番号をトラック番号といいます。



・インデックス (CD) /ビデオインデックス (ビデオCD)

ビデオCDおよびCDで、再生したい部分を見つけやすいように1つのトラックをいくつかの部分に区切って番号を付けたものです。ディスクによってはインデックスが記録されていないものもあります。

・シーン

PBC対応のビデオCDで、メニュー画面や動画、静止画の区切りのことをシーンと言います。シーンごとに順に付けられた番号をシーン番号と言います。

PBC (プレイバックコントロール) について (ビデオCD)

本機は、PBC対応ビデオCD（バージョン2.0）にも対応しています。（PBCとは、Playback Controlの略です。）

ディスクのタイプによって、次の2種類の再生を楽しめます。

ディスクのタイプ	楽しみかた
PBC対応でないビデオCD（バージョン1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（動画）を再生できます。
PBC対応ビデオCD（バージョン2.0）	上記（PBC対応でない場合）の楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニュー画面（選択画面）を使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（PBC再生、23ページ）。また、高精細の静止画も再生できます。

本機で再生できないディスクについて

本機では次のディスクを再生することはできません。

- ・CD-ROM (PHOTO CDを含む)
- ・CD-R
- ・CD-EXTRAのデータ部分
- ・DVD-ROM など

DTS*で記録されたCDを再生するとアナログ出力からは極端に大きなノイズが出ます。DVDプレーヤーのアナログ出力をアンプにつないでいるときは、お手持ちのシステムが破損しないよう細心の注意を払う必要があります。DTS Digital Surround™の再生をお楽しみいただくには、DVDプレーヤーのデジタル出力に5.1チャンネルの外部DTS Digital Surround™デコーダーを接続する必要があります。

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許上の方法クレーム及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。リバースエンジニアリングまたは分解は禁止されています。

* Digital theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。DTSおよびDTS Digital SurroundはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。
(チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。)

音量を調節するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調節すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。演奏を始める前には音量を必ず小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。

窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいでください。

結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再度電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

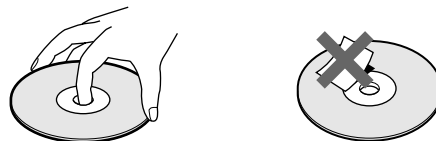
残像現象(画像の焼きつき)のご注意

DVDメニューやタイトルメニュー、ビデオCDのメニュー、本機の設定画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象(画像の焼きつき)を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象(画像の焼きつき)が起こりやすいのでご注意ください。

ディスクの取り扱い上のご注意

取り扱いかた

- 再生面に手を触れないように持ちます。
- 紙やシールを貼らないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのまま本機にかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

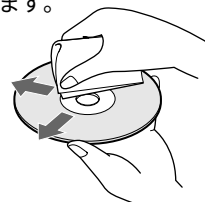


保存のしかた

- 直射日光が当たる所など温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねたり、立てかけておくと変形の原因になります。

お手入れのしかた

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽くふきます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布でふいた後、さらに乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

本機でお使いいただける音楽CDは円形ディスクのみです。円形以外の特殊な形状(星形、ハート型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

設置と準備

この章では本機とテレビやアンプとの接続のしかたを説明します。なお、本機は映像入力端子がないテレビには接続できません。**接続するときは、機器の電源を必ず切ってください。**

付属品を確認する

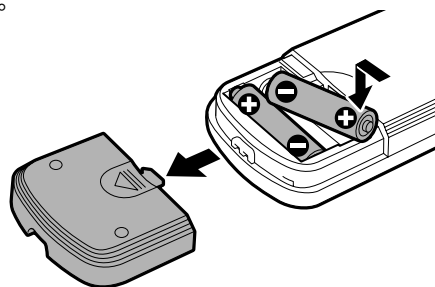
次の付属品がそろっているかを確認してください。

- 映像音声コード
(ピンプラグ×3 ↔ ピンプラグ×3) (1)
- S映像コード (1)
- リモコン RMT-D111J (1)
- 単3形乾電池 (R6) (2)
- ソニーご相談窓口のご案内 (1)
- 保証書 (1)

もし、付属品がそろっていないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、単3形乾電池 (R6) (付属) 2個を入れる。



 **リモコンでテレビやAVアンプを操作できます。**

64ページをご覧ください。

ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
 - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
 - 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
 - 乾電池は充電しないでください。
 - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
 - 液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

テレビとつなぐ

テレビのスピーカーから音を出すとき（2ch・左右のスピーカーで音を出すとき）の接続です。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

必要な接続コード

映像音声コード（付属）

S映像コード（付属）

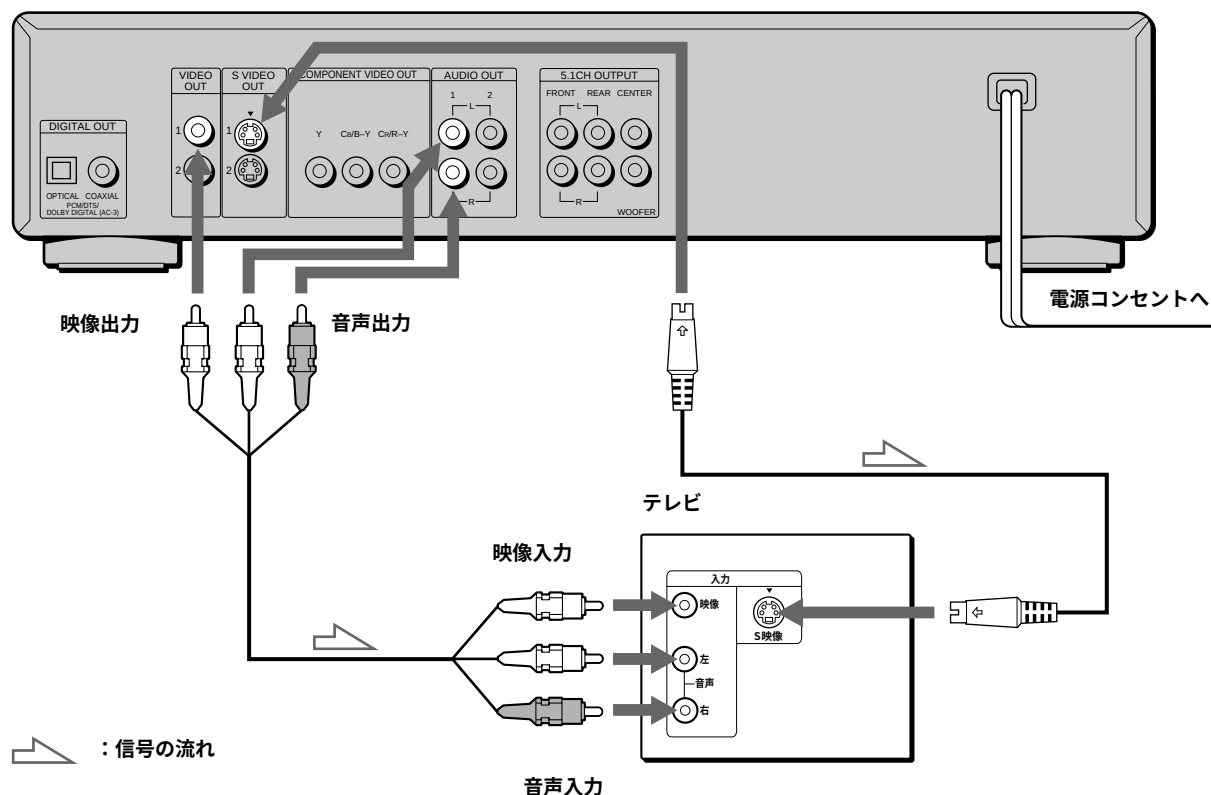
黄（映像）端子に黄プラグを、白（左、L）端子には白プラグを、赤（右、R）端子には赤プラグをつなぎます。つなぐときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音やノイズの原因になります。

S映像入力端子付きのテレビをお使いのときは、黄色の映像コードでつなぐ代わりに、S映像コード（付属）を使ってつなぎます。さらに鮮明な映像が楽しめます。

黄（映像） 白（左、L） 赤（右、R）



CD/DVDプレーヤー



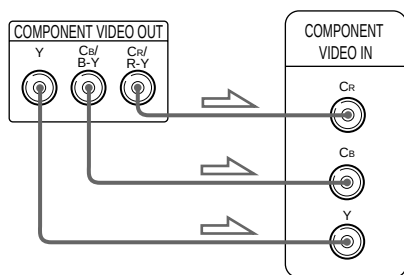
ご注意

- 右記のようにビデオデッキを経由して本機の映像をテレビで見ようとする、画像が乱れることがあります。本機とビデオデッキは接続しないでください。
- テレビやアンプによっては音声出力のレベルが高く、音が歪むことがあります。そのときは設定画面の「オーディオ設定」から「オーディオ ATT」を選んで「入」にしてください。（くわしくは58ページをご覧ください。）

本機のコンポーネントビデオ出力端子

(Y、Cb/B-Y、Cr/R-Y)の信号に対応した入力端子を持つテレビやプロジェクターにつなぐときは

コンポーネント映像コード（別売り）または同じ映像コード3本（別売り）を使います。より高画質の映像が楽しめます。



ご注意

つなぐ機器の説明書もご覧ください。

使う前に必要な設定をする

接続した機器に合わせて、CD/DVDプレーヤーの設定をします。また、画像や音声についての設定も主に設定画面を使って行います。くわしくは50ページをご覧ください。

■ ワイドテレビまたはワイドモード機能付きのテレビとつないだとき

設定画面の「画面設定」の「TVタイプ」を「16:9」にする。お買い上げ時は「16:9」に設定されています。

■ 通常のテレビとつないだとき

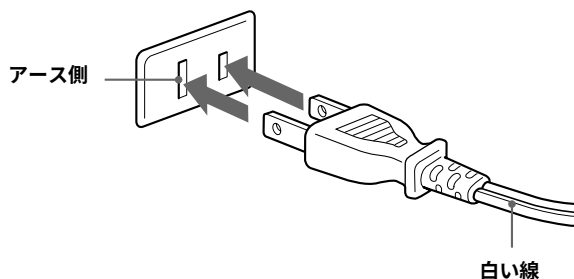
設定画面の「画面設定」の「TVタイプ」を「4:3 レターボックス」または「4:3 パンスキャン」にする（54ページ）。

その他、画像や音声についての設定は主に設定画面を使って行います。くわしくは50ページをご覧ください。

電源コードの極性について

各機器の電源コードの極性を合わせて、より良い音質で音楽をお楽しみいただくため、本機の電源コードには白い線が付いています。白い線が入っている側がコンセントの差し込み口の長い方（アース側）にくるように差し込みます。

電源コードはすべての接続が終わってから差し込んでください。



アンプとつなぐ

アンプにつないだスピーカーから音を出すとき（2ch・左右のスピーカーで音を出すとき）の接続です。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。5.1ch入力対応のアンプにつないでドルビーデジタルサラウンドを楽しむときは37ページをご覧ください。

🔊 フロントスピーカー（左右）しかつないでいないときもサラウンド音声を楽しめます（VES：バーチャル エンハンスト サラウンド）

ステレオ信号を3D立体音像処理により、リアスピーカーを使わずにフロントスピーカーのみで、後方に仮想スピーカーを再現します。詳しくは、37ページをご覧ください。

必要な接続コード

音声コード（別売り）

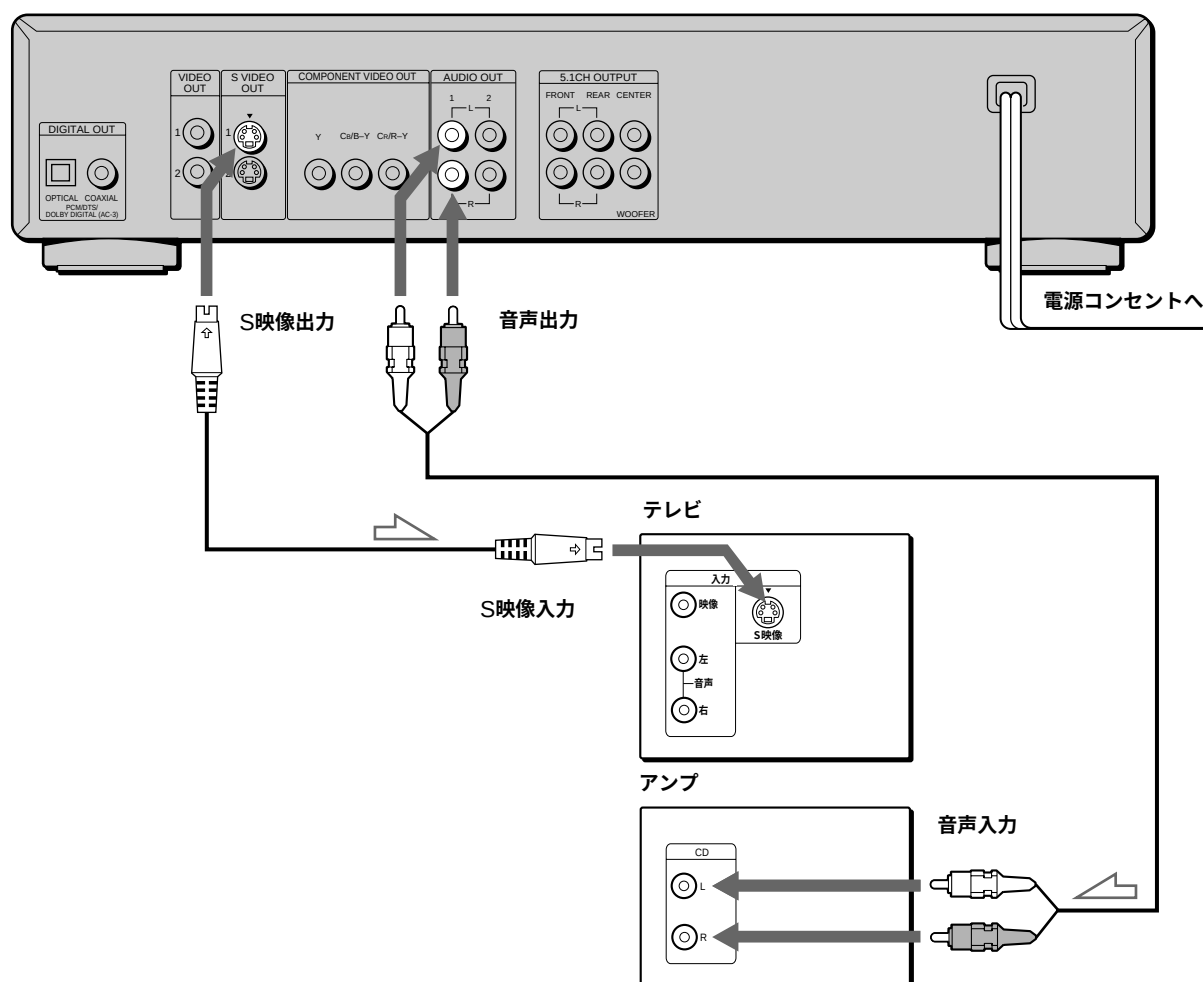
S映像コード（付属）

白（左、L）端子には白プラグを、赤（右、R）端子には赤プラグをつなぎます。つなぐときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音やノイズの原因になります。

白（左、L） 赤（右、R）



CD/DVDプレーヤー

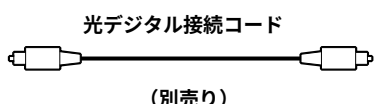


：信号の流れ

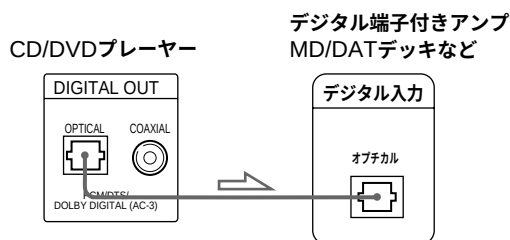
デジタル端子付きのアンプやMDデッキ、DATデッキにつなぐときは

オーディオ用光デジタル接続コード（別売り）またはオーディオ用同軸デジタル接続コード（別売り）を使います。この接続をしたときは、設定画面の「オーディオ設定」の「音声デジタル出力」を「入」にし、「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」に、「DTS」を「切」に設定しておきます（59ページ）。

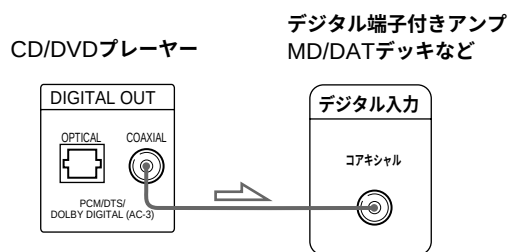
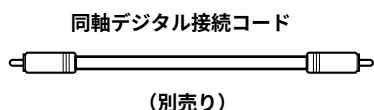
■ 光デジタル接続コードを使うとき



端子についているキャップを抜いてから、プラグをしっかりと差し込みます。



■ 同軸デジタル接続コードを使うとき



ご注意

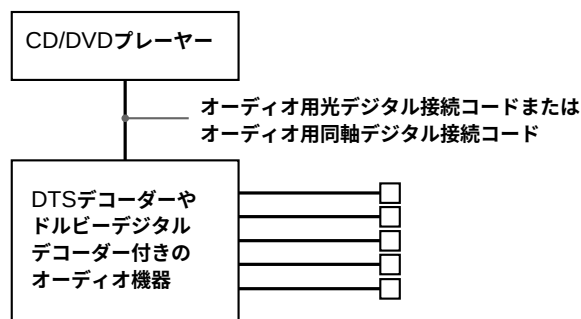
- つなぐ機器の説明書もご覧ください。
- ドルビーデジタル方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。

この接続をしたときは「オーディオ設定」の「ドルビーデジタル」を「ドルビーデジタル」に、「DTS」を「入」にしないでください。突然大音量が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

DTSデコーダーやドルビーデジタルデコーダー付きのオーディオ機器につなぐときは

オーディオ用光デジタル接続コード（別売り）またはオーディオ用同軸デジタル接続コード（別売り）を使います。

- DTSフォーマットで記録されたDVDを再生するとき
設定画面の「オーディオ設定」の「音声デジタル出力」を「入」にし、「DTS」を「入」に設定しておきます（59ページ）。
- ドルビーデジタルフォーマットで記録されたDVDを再生するとき
設定画面の「オーディオ設定」の「音声デジタル出力」を「入」にし、「ドルビーデジタル」を「ドルビーデジタル」に設定しておきます（60ページ）。



ご注意

- つなぐ機器の説明書もご覧ください。
- DTSデコーダー付きのオーディオ機器をつながないときは、「DTS」を「入」にしないでください。
- ドルビーデジタルデコーダー付きのオーディオ機器をつながないときは、「ドルビーデジタル」を「ドルビーデジタル」にしないでください。

使う前に必要な設定をする

接続した機器に合わせて、CD/DVDプレーヤーの設定をします。また、画像や音声についての設定も主に設定画面を使って行います。くわしくは50ページをご覧ください。

- ドルビーデジタル対応でないデジタルアンプについて
音を出すとき/MDやDATなどのデジタル機器に出力するとき
設定画面の「オーディオ設定」の「音声デジタル出力」を「入」にし、「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」に、「DTS」を「切」にする。これはお買い上げ時の設定です。

サラウンドシステムをつなぐ

DVDにはドルビー*デジタル方式で音声記録されているものがあります。ドルビーデジタル方式では、最大5.1chの信号が記録されており、5.1ch入力対応アンプとスピーカーを5(+1)個用意すれば、劇場のような臨場感をご家庭でお楽しみいただけます。(+)はサブウーファーを意味します。また本機ではスピーカーが5(+1)個ない場合でも、信号成分を他のスピーカーに振り分けて出力できるため、より制作者の意図に近い音場が再現できます。さらに本機ではVIRTUAL 3D SURROUNDの機能により、実際のリアスピーカーの位置とは違った位置にあるような効果を出したり(VIRTUAL REAR SHIFT)、仮想スピーカーを増やしたり(VIRTUAL MULTI REAR)することができます。VIRTUAL 3D SURROUNDについて詳しくは、37ページをご覧ください。

スピーカーを設置する

サラウンド効果を十分に楽しむために、以下の点に留意することをおすすめします。

- なるべく性能のよいスピーカーを用意する
- フロント、リア、およびセンターとして、同じ大きさで性能のスピーカーを使う
- 各スピーカーをリスニングポジションからなるべく同じ距離に設置する
- サブウーファーはなるべくフロントスピーカー(L、R)の間に設置する

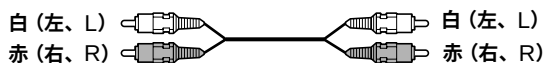
ご注意

センタースピーカー、リアスピーカーはフロントスピーカーよりも遠くに設置しないでください。

必要な接続コード

音声コード(別売り: 2本)

5.1CH OUTPUT FRONT端子に1本とREAR端子に1本つなぎます。



モノラル音声コード(別売り: 2本)

5.1CH OUTPUT CENTER端子に1本とWOOFER端子に1本つなぎます。



S映像コード(付属: 1本)

S VIDEO OUT端子につなぎます。



接続についてのご注意

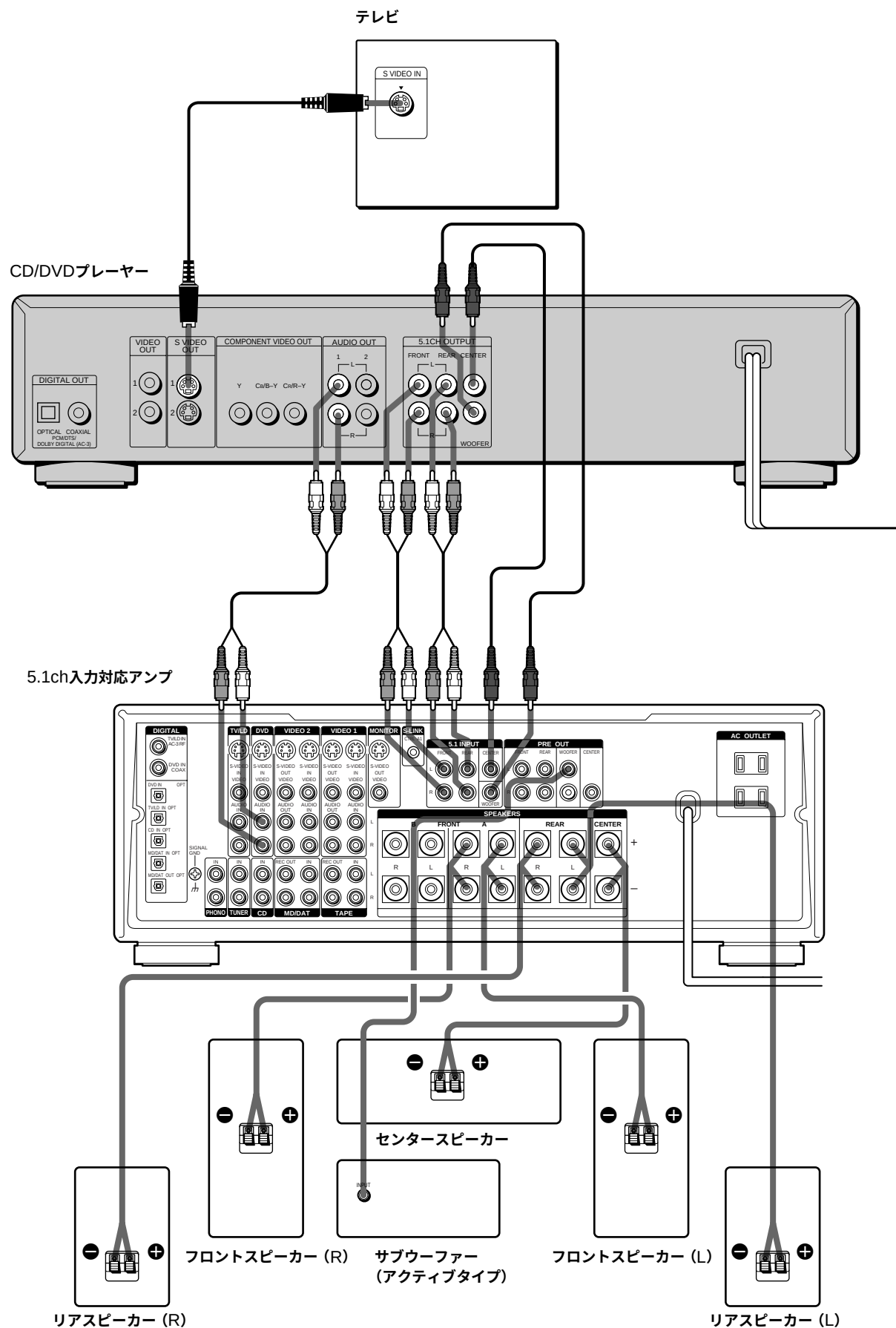
- 電源を必ず切ってから接続してください。
- すべての接続が完了するまで、電源コードは接続しないでください。
- プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因となります。
- 接続コードの赤いプラグはオーディオR(右)端子へ、白いプラグはオーディオL(左)端子へつなぎます。センタースピーカーやサブウーファーには、赤、白のケーブルを任意にお使いください。
- オーディオ用光デジタル接続コード(別売り)またはオーディオ用同軸デジタル接続コード(別売り)を使って、デジタル端子につなぐときは15ページをご覧ください。

使う前に必要な設定をする

接続した機器に合わせて、CD/DVDプレーヤーの設定をします。また、画像や音声についての設定も主に設定画面またはコントロールメニュー画面を使って行います。設定画面については50ページを、コントロールメニュー画面については26ページをご覧ください。

- 5.1ch入力対応アンプにCD/DVDプレーヤーをつないでドルビーデジタルサラウンドを楽しむとき
個々のスピーカーの大きさ、距離やバランスなどを設定してください。くわしくは61ページをご覧ください。

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「Dolby」、「Pro Logic」、「AC-3」及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。



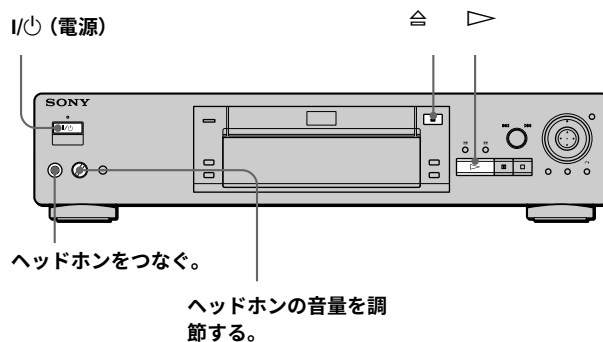
再生する

この章では、DVD、CD、VIDEO CDの再生のしかたを説明します。

ディスクを再生する

DVD VIDEO CD

ディスクによっては、異なる操作や禁止されている操作がありますので、再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。



1 テレビの準備は

テレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えでCD/DVDプレーヤーの画像が映るようにします。

アンプをつないでスピーカーから音を出すときは

アンプの電源を入れ、アンプの入力切り換えでCD/DVDプレーヤーの音声聞こえるようにします。

2 I/⏻ (電源) スイッチを押して電源を入れる。

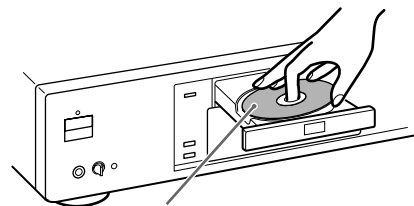
I/⏻ (電源) スイッチのランプ (赤) が緑に変わり、表示窓が点灯します。

3 合を押す。

ディスクトレイが手前に開きます。

4 ディスクを置いて、▶を押す。

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります (ふつうの再生)。テレビまたはアンプで音量を調節します。



再生したい面を下に

手順4の後に

■ DVDを再生しているとき

DVDによっては手順4でタイトルメニューやDVDメニューが表示される場合があります。くわしくは22ページをご覧ください。

■ VIDEO CDを再生しているとき

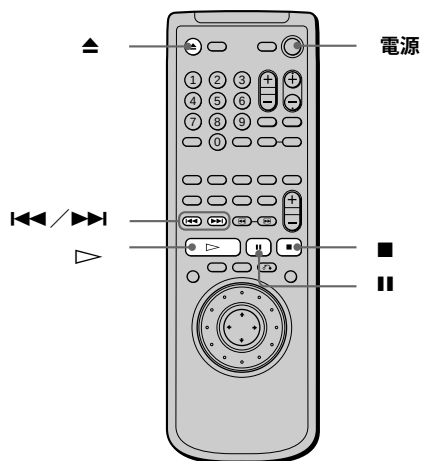
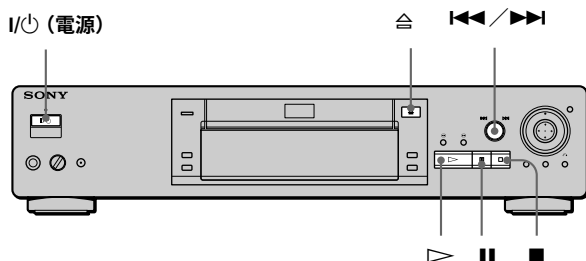
ビデオCDによっては手順4でテレビ画面にメニューが表示される場合があります。そのときは、表示されたメニュー画面（選択画面）を使って、対話形式で再生していきます（PBC再生）。PBC再生の操作のしかたについては、23ページをご覧ください。

💡 リモコンでも電源を入れることができます。

本体前面のPOWERスイッチのランプが赤く点灯しているとき、電源ボタンを押します。

ご注意

- 停止中、または一時停止中、15分以上本体またはリモコンを操作しないと、自動的にスクリーンセーバーが作動します。▷を押すとスクリーンセーバーが消えます。
- I/⏻（電源）スイッチのランプは電源を切っているとき赤く点灯しています。
- ディスクを再生していないときに30分以上本機やリモコンを操作しないと自動的に電源が切れます。（オートパワーオフ機能）



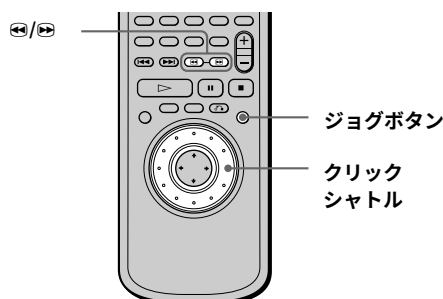
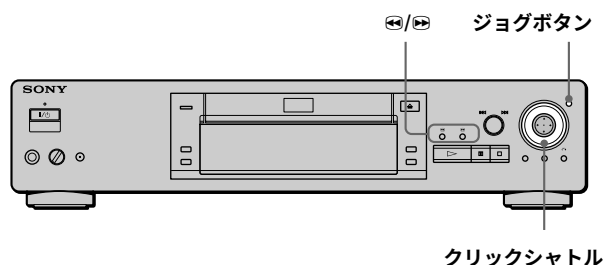
こんなときは	こうする
止める	■を押す。
途中で止める	⏮を押す。
途中で止めたあと、つづきを再生する	⏮または▷を押す
再生中にチャプターや映像、曲を進める	本体で操作するとき ⏮/⏭を時計まわりに回してチャプターや映像、曲を選ぶ。
	リモコンで操作するとき ⏮を押す。
再生中にチャプターや映像、曲を戻す	本体で操作するとき ⏮/⏭を反時計まわりに回してチャプターや映像、曲を選ぶ。
	リモコンで操作するとき ⏮を押す。
ディスクを取り出す	⏮

コントロールメニュー画面で設定してプログラム再生などいろいろな再生が楽しめます。コントロールメニュー画面の操作については、26ページをご覧ください。

速さを変えて再生する/コマ送りする DVD VIDEO CD CD

クリックシャトルとジョグボタンを使って、いろいろな速さで再生したりコマ送りすることができます。ジョグボタンを押すたびに、ジョグモードとシャトルモードが切り換わります。

再生する



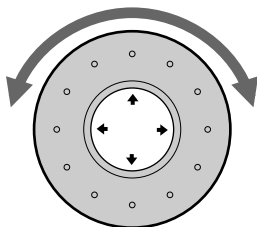
速さを変えて再生する（シャトルモード）

クリックシャトルを回す。

回す向きと角度に応じて次のように再生の速さが変わります。

■ DVDを再生するとき

早送り2▶▶ (通常の約30倍)
 ↓
 早送り1▶▶ (通常の約10倍)
 ↓
 ×2▶ (約2倍速)
 ↓
 再生▶ (通常の再生)
 ↓
 スロー1◀◀
 ↓
 スロー2◀◀ (スロー1より遅い)
 ↓
 一時停止⏸
 ↓
 スロー2◀◀ (逆方向：スロー1より遅い)
 ↓
 スロー1◀◀ (逆方向)
 ↓

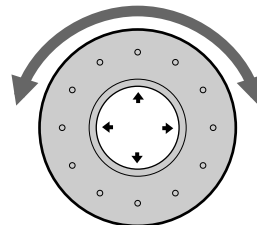


×2◀ (逆方向：約2倍速)
 ↓
 早戻し1◀◀ (通常の約10倍)
 ↓
 早戻し2◀◀ (通常の約30倍)

すばやく回すと早送り2▶▶/早戻し2◀◀になります。

■ CD/ビデオ CDを再生するとき

早送り2▶▶ (早送り1より速い)
 ↓
 早送り1▶▶
 ↓
 ×2▶ (約2倍速 - CDのみ)
 ↓
 再生▶ (通常の再生)
 ↓
 スロー1◀◀ (-ビデオCDのみ)
 ↓
 スロー2◀◀ (スロー1より遅い - ビデオCDのみ)
 ↓
 一時停止⏸
 ↓
 早戻し1◀◀
 ↓
 早戻し2◀◀ (早戻し1より速い)



すばやく回すと早送り2▶▶/早戻し2◀◀になります。

ふつうの再生に戻す

▷を押す。

💡 ボタンを使って画像を探すには（サーチ）

⏮または⏭を押します。再生の速さはクリックシャトルを使ったときの早戻し1◀◀または早送り1▶▶と同じです。ボタンから手を離すと、通常の再生に戻ります。

ご注意

DVD、ビデオCDによっては操作が禁止されている場合があります。

速さを変えてコマ送りする (ジョグモード)

DVD

VIDEO
CD

1 ジョグボタンを押す。

ジョグモードではジョグボタンが点灯します。本体のジョグボタンを押したときは一時停止になります。

2 クリックシャトルを回す。

クリックシャトルを回す速さに応じてクリックシャトルを回した方向でコマ送りされます。

ある程度以上一定の速さになると、スローまたはふつうの再生になります。

ふつうの再生に戻す

▷を押す。

ご注意

- ジョグボタンはすぐ隣のクリックシャトルがジョグモードのときだけ点灯します。本体のジョグボタンが点灯していても、リモコンのジョグボタンが点灯していなければリモコンのクリックシャトルはシャトルモードのままです。
- ジョグボタンを押してからクリックシャトルに触れないで20秒たつと、リモコンはシャトルモードに戻ります。本体ではジョグモードのままです。

再生を止めたあと、そのつづきから再生する

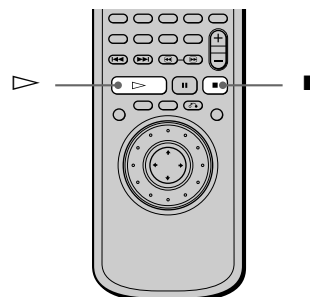
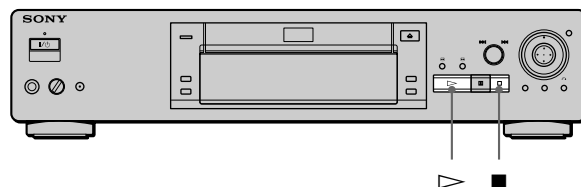
(リジューム再生)

DVD

VIDEO
CD

CD

再生を止めたあと、表示窓に「RESUME」が表示されると、本機が再生を止めた場所を覚えています。このときは、そのつづきから再生できます。ディスクトレイを開けない限り、リジューム再生は電源を切っても使えます。



再生する

1 ディスクの再生中、■を押して、再生を止める。

表示窓に「RESUME」と表示されます。また、テレビ画面には「次に再生するときは今のつづきから再生します」と表示されます。

「RESUME」が表示されないときは

リジューム再生はできません。

2 ▷を押す。

手順 1 で再生を止めた場所から、再生が始まります。

💡 ディスクを最初から再生したいときは

停止中に再生時間が表示されているとき、■を押して再生時間表示を消してから、▷を押します。

再生を止めたあと、そのつづきから再生する (リジューム再生)

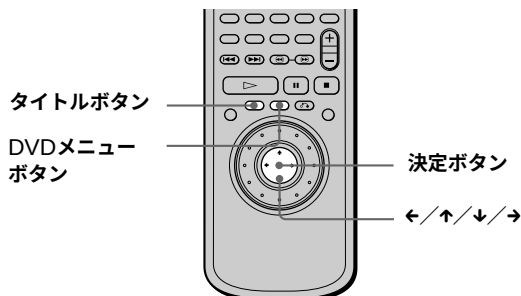
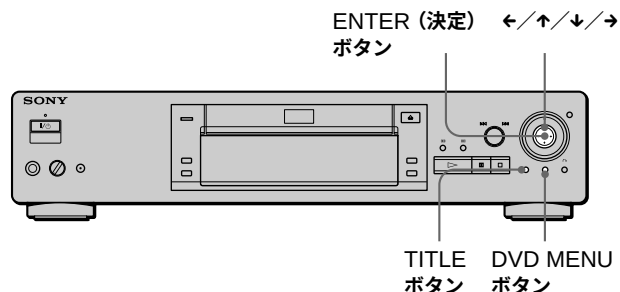
ご注意

- DVDによってはリジューム再生ができない場合があります。
- シャッフルまたはプログラム再生ではできません。
- 再生を止めた場所によっては、つづきからの再生がずれて始まる場合があります。
- 次のときには場所の記憶は消えます。
 - ディスクトレイを開閉したとき
 - 電源コードを抜いたとき
 - プレイモードを変えたとき
 - タイトルやチャプター、トラックを選んでから、再生を始めたとき
 - 設定画面の「画面設定」の「TVタイプ」の設定を変更したとき
 - 設定画面の「視聴設定」の「視聴年齢制限」の設定を変更したとき

DVDのメニューを使う **DVD**

操作する (タイトルメニュー)

DVDには、複数の映像や曲が記録されたものがあります。これをタイトルといいます。このようなDVDを再生するときは、タイトルメニューで好きなタイトルを選べます。



- 1 タイトル/TITLEボタンを押す。**
タイトルメニューが表示されます。
- 2 再生したい タイトルを←/↑/↓/→で選ぶ。**
(DVDによってはリモコンの数字ボタンでタイトルを選べるものもあります。)
- 3 決定ボタンを押す。**
選んだタイトルの再生が始まります。

ご注意

- DVDによってはタイトルを選ぶことが禁止されている場合があります。
- DVDによっては「タイトルメニュー」のことを「メニュー」または「タイトル」と表示しているものがあります。また決定ボタンを押すことを「選択ボタンを押す」と表示しているものがあります。

ディスクの内容を選ぶ (DVDメニュー)

DVDには、ディスクの内容をメニューで選択できるものがあります。このようなDVDを再生するときは、再生したい項目、表示したい字幕の言語、聞きたい音声の言語などをDVDメニューで選べます。

1 DVDメニューボタンを押す。

DVDメニューが表示されます。DVDメニューはDVDにより異なります。

2 選みたい項目を←/↑/↓/→で選ぶ。

(DVDによってはリモコンの数字ボタンで項目を選べるものもあります。)

3 別の項目を変更したいときは、手順2を繰り返す。

4 決定ボタンを押す。

 DVDメニューで表示される言語を変えるときは設定画面の「言語設定」で変更できます。詳しくは50ページをご覧ください。

ご注意

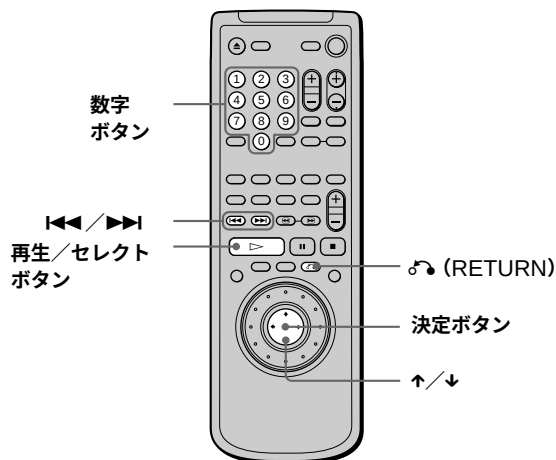
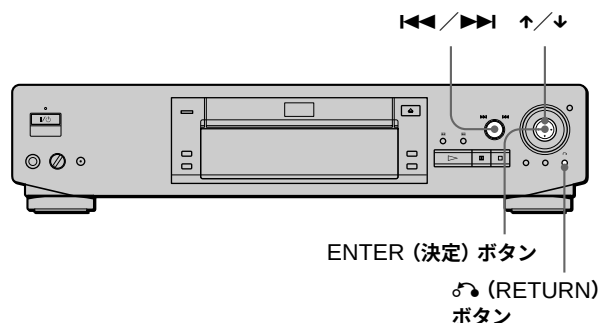
DVDによっては「DVDメニュー」のことを「メニュー」と表示しているものがあります。

プレイバックコントロール機能を使う (PBC再生)

PBC対応ビデオCD (バージョン2.0) では、PBC (プレイバックコントロール) 機能を使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを楽しめます。

PBC再生とは、PBC機能でテレビ画面に表示される選択用のメニュー画面を使って、対話形式で再生を進めていくことです。

本機では、数字ボタンと、決定、◀▶、↺ (リターン)、↑/↓ボタンを使って、PBC再生を進めていきます。操作の方法はビデオCDによっても異なることがありますので、ビデオCDに付属の説明書をご覧ください。



プレイバックコントロール機能を使う (PBC再生)

- 1 「ディスクを再生する」(18ページ)の手順1から手順4を行って、PBC対応ビデオCDの再生を始める。
- 2 選択用のメニュー画面の中で行いたい(再生したい)項目の番号を選ぶ。
↑/↓ボタンで項目の番号に合わせるか、リモコンの数字ボタンで項目の番号の数字ボタンを押します。
- 3 決定ボタンを押す。
- 4 テレビ画面に表示される選択用のメニュー画面などにしたがって、対話形式で再生を進める。

選択用のメニュー画面に戻るには

一般的なPBC対応ビデオCDでは、**↶** (リターン) または **◀▶** のいずれかのボタンを押す。

💡 PBC機能を使わないで再生するときは

次の2つの方法があります。

- 停止中、**◀▶** または **▶▶** を押して再生したいトラックを選んでから **▶** または決定ボタンを押す。
- 停止中、リモコンの数字ボタンで再生したいトラック番号を押してから **▶** または決定ボタンを押す。

画面上に「PBCを切って再生します」が表示され、ふつうの再生(トラック番号順に再生)が始まります。このとき、選択用のメニューなどの静止画は再生できません。

PBC再生に戻すには、**■** を押して再生を止めたあと、もう1度 **■** を押してから **▶** を押して再生を始めます。

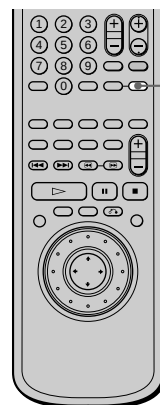
ご注意

ビデオCDによっては手順3で決定ボタンを押すことを「選択ボタンを押す」と表示しているものがあります。

表示窓の見かた

DVD VIDEO CD

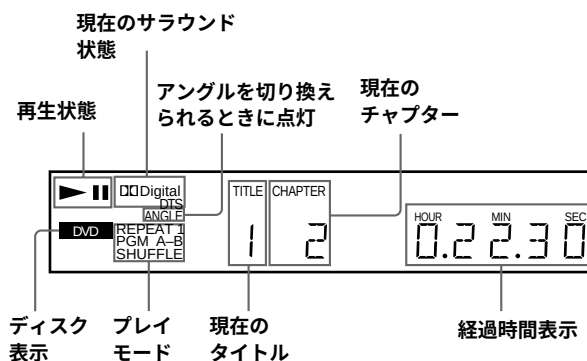
表示窓を使って、ディスクの残り時間や、DVD内の全タイトル数、CD/ビデオCDの全トラック数などを調べることができます。



時間/テキストボタン

DVDを再生中のとき DVD

再生中の表示窓

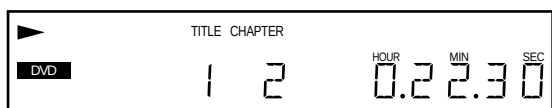


再生の残り時間を調べる

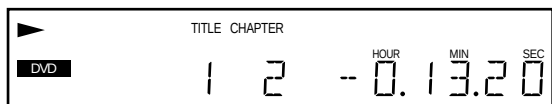
再生中、リモコンの時間/テキストボタンを押す。

押すたびに再生中のタイトルまたはチャプターの残り時間などが次のように表示されます。

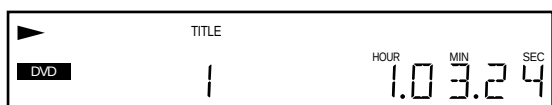
再生中のチャプター番号と経過時間



再生中のチャプターの残り時間



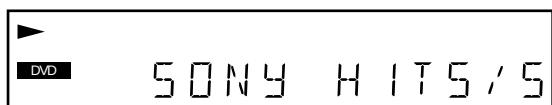
再生中のタイトル番号と経過時間



再生中のタイトルの残り時間



テキストまたはディスクメモ



ご注意

- DVDによってはチャプター番号や時間が表示されない場合や、表示窓の表示をかえられない場合があります。
- シャッフル再生、プログラム再生をしているときは、ディスク経過時間、ディスク全体の残り時間は表示されません。

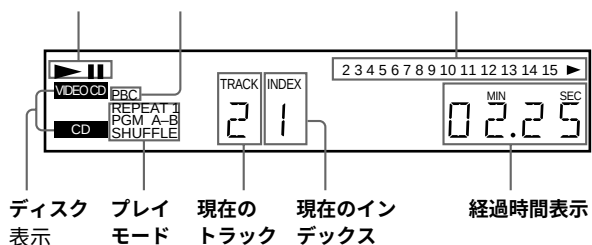
CD/ビデオCDを再生中のとき



再生中の表示窓

PBC再生中に点灯
再生状態 (ビデオCDのみ)

ミュージックカレンダー*



* ミュージックカレンダーには曲番が表示されます。15曲以上入っているときには、15の後に▶が表示されます。再生し終わった曲番は、ミュージックカレンダーから消えていきます。

💡 ビデオCDでPBC再生しているときは

トラック番号、インデックス番号の代わりに再生中のシーン番号が表示されます。このとき時間/テキストボタンを押しても表示窓は変化しません。

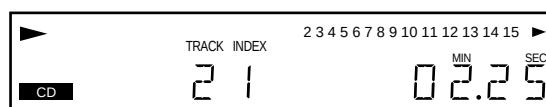
ディスクにCDテキストかディスクメモが記録されていれば、時間/テキストボタンを押したときにCDテキストまたはディスクメモが表示窓に表示されます。CDテキストやディスクメモについてくわしくは32ページをご覧ください。

再生の残り時間を調べる

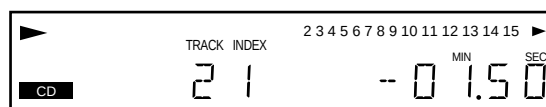
再生中、時間/テキストボタンを押す。

押すたびに再生中のトラックまたはディスク全体の残り時間などが次のように表示されます。

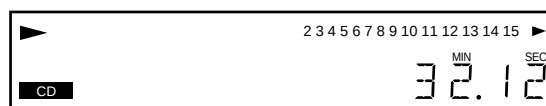
再生中のトラック番号と経過時間



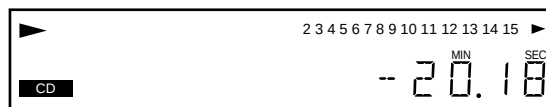
再生中のトラックの残り時間



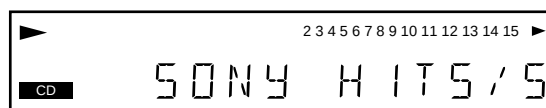
ディスク経過時間



ディスク全体の残り時間



テキストまたはディスクメモ



ご注意

シャッフル再生、プログラム再生およびビデオCDのPBC再生をしているときは、ディスク経過時間、ディスク全体の残り時間は表示されません。

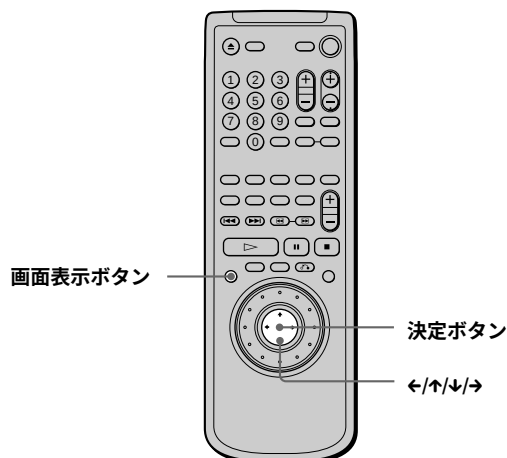
コントロールメニューでいろいろな機能を使う

ここではコントロールメニュー画面を使ったいろいろな再生のしかたや、便利な機能の使いかたを説明します。

コントロールメニューを使う

**DVD****VIDEO
CD****CD**

コントロールメニュー画面を使ってディスクに名前をつけたり、デジタルシネマサウンドの設定をしたりできます。コントロールメニューの項目はディスクによって異なります。コントロールメニューのそれぞれの項目について詳しくは、29～49ページをご覧ください。

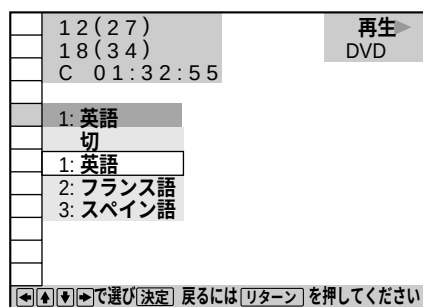
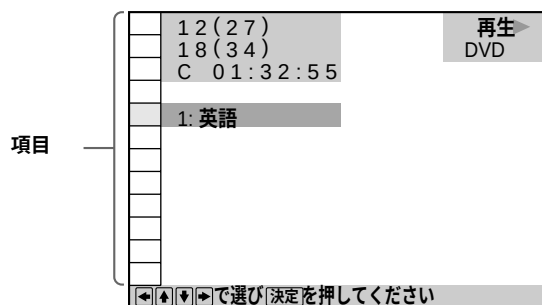


1 画面表示ボタンを押す。

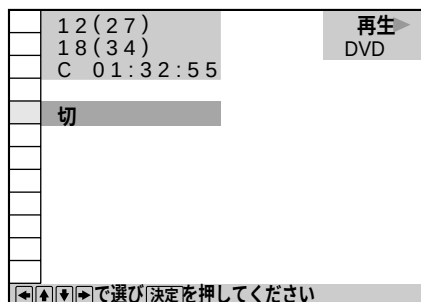
コントロールメニュー画面が出る。



2 ↓/↑で 項目を選んで、→ または決定ボタンを押す。



3 ↑/↓で項目を選んで、決定ボタンを押す。



ご注意

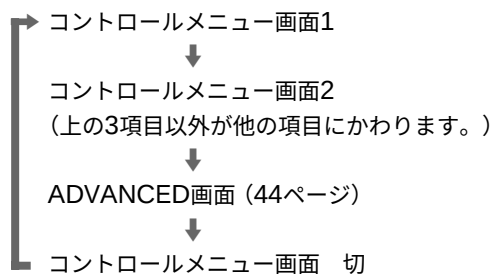
コントロールメニュー画面の項目には、その中で項目を選ぶ以外の操作が必要なものもあります。このような項目について詳しくは、次ページからの各項目の説明に記されている参照ページをご覧ください。

コントロールメニュー画面の設定を途中でやめるには

↩ リターンボタンを押します。

表示されていない他の項目を表示させるには

画面表示ボタンを押すたびに、コントロールメニュー画面は次のようになります。



💡 リモコンを使って表示できる項目もあります

いくつかの項目はリモコンのボタンを押すことで表示させることができます。この場合、選んだ項目だけが表示されます。リモコンを使った操作についてはそれぞれの項目の説明をご覧ください。

コントロールメニュー画面項目一覧

- TITLE** タイトル (DVDのみ) (29ページ)
- CHAPTER** チャプター (DVDのみ) (29ページ)
- TRACK** トラック (ビデオCD/CDのみ) (29ページ)
- INDEX** インデックス (ビデオCD/CDのみ) (29ページ)
- SCENE** シーン (PBC再生時のビデオCDのみ) (29ページ)

タイトル、チャプター、トラック、インデックス、シーンを選んで映像や曲を探することができます。

- TIME/TEXT** タイム/テキスト (30、31、32ページ)

- TIME/MEMO** タイム/メモ (30、31、32ページ)

再生中のタイトル、チャプター、トラックの残り時間と、ディスク全体の残り時間を調べることができます。時間を入力して映像や曲を探することができます。ディスクに記録されたDVDテキストやCDテキストを表示窓やテレビ画面で見ることができます。ビデオCDや、DVDテキストやCDテキストが記録されていないディスクには、ディスクメモを記録することができます。

- AUDIO** オーディオ (34ページ)

DVDの中には、複数の言語 (マルチランゲージ) で音声記録されているものがあります。このようなDVDでは、再生中に好きな言語の音声に切り換えられます。また、カラオケのビデオCDなどでは、音声を切り換えてボーカルのトラックを消せるものもあります (このときの音声はモノラルです)。

- SUBTITLE** サブタイトル (DVDのみ) (35ページ)

DVDの中には、字幕が記録されているものがあります。この字幕は再生中であれば好きなときに表示したり消したりできます。またDVDに複数の言語で字幕が記録されているときは、再生中の好きなときに切り換えられます。

- ANGLE** アングル (DVDのみ) (36ページ)

DVDの中には、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの (マルチアングル) があります。このようなDVDでは、再生中、複数のアングルが記録されている部分であれば好きなアングルに切り換えながら見ることができます。

- VIRTUAL 3D SURROUND** バーチャル 3Dサラウンド (37ページ)

ドルビーデジタルサラウンドなどのマルチチャンネルのサラウンド音声を楽しむことができます。フロントスピーカーしかつないでいないときでも、バーチャルエンハンスサラウンド (VES) 機能で、ステレオ信号を3D立体音像処理することにより仮想のスピーカーを再現します。

フロントスピーカーとリアスピーカーを2つずつつないでいるときには、VIRTUAL 3D SURROUNDの機能により、実際のリアスピーカーの位置とは違った位置にあるような効果を出したり (VIRTUAL REAR SHIFT)、仮想スピーカーを増やしたり (VIRTUAL MULTI REAR) することができます。5.1ch入力対応アンプをつないで、フロントスピーカーとリアスピーカーを2つずつとセンタースピーカー、およびサブウーファーをつないでいるときはより制作者の意図に近い音場が再現できます。

- PROGRAM** プログラム (39ページ)

タイトルやチャプター、トラックを選んで好きな順に再生できます。

- SHUFFLE** シャッフル (41ページ)

ディスク上のタイトル番号やトラック番号に関係なく、本機がランダム (無作為) に順番を選んで、ひと通り再生します。再生する順番は、選ぶたびにかわります。

- REPEAT** リピート (42ページ)

ディスク全体 (全タイトル/全トラック) または1つのタイトル/チャプター/トラックだけを繰り返し再生できます。

- A-B REPEAT** A-Bリピート (43ページ)

再生したい部分を指定して、繰り返し再生できます。

- ADVANCED** アドバンスド (DVDのみ) (44ページ)

ビットレートやビットレートヒストリー、再生中のディスクが読んでいる位置 (レイヤー) についての情報を見ることができます。

- ディーエヌアール
DNR DNR (DVD/ビデオCDのみ) (45ページ)

画面に現れるざらつきを減らすことで、映像をはっきりさせることができます。

- イーキュー
VIDEO EQ ビデオEQ (DVD/ビデオCDのみ) (46ページ)

部屋の明るさや映像の内容に合わせた画質設定を選べます。また、手動で画質をより細かく調整することもできます。

- ANGLE VIEWER** アングルビューワー (DVDのみ) (47ページ)

同じ場面が複数のアングルで記録されているDVDを再生するとき、記録されているすべてのアングルをまとめて見ることができます。そこからアングルを選ぶこともできます。

- STROBE PLAYBACK** ストロブプレイバック (DVD/ビデオCDのみ) (48ページ)

画面上に連続した9つの場面を表示させることができます。それぞれの画面は静止画になります。

TITLE VIEWER タイトルビューワー (DVDのみ) (48ページ)

CHAPTER VIEWER チャプタービューワー (DVDのみ) (48ページ)

TRACK VIEWER トラックビューワー (ビデオCDのみ) (48ページ)

画面を9分割してディスクのタイトル、チャプター、トラックを見ることができます。選んだタイトル、チャプター、トラックから再生することもできます。

BOOKMARK ブックマーク (DVD/ビデオCDのみ)
(49ページ)

ディスク上の指定した位置を本機に記憶させておき、記憶させた位置を選んで再生することができます。

再生するタイトル/チャプター/トラック/インデックス/シーンを選ぶ



DVD

VIDEO CD

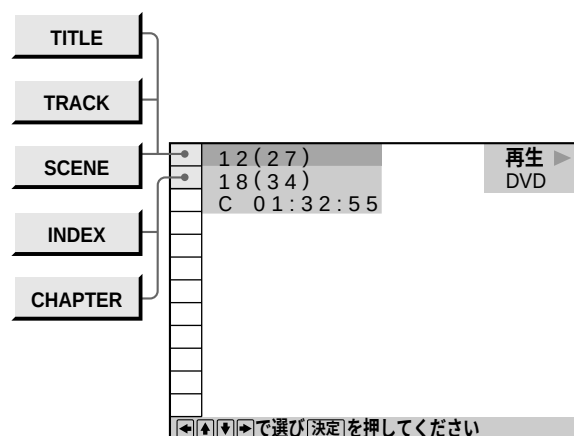
CD

タイトル、チャプター、トラック、インデックス、シーンを選んで映像や曲を探することができます。

画面表示ボタンを押したあと、「TITLE」か「CHAPTER」、「TRACK」、「INDEX」、「SCENE」を選びます。

DVDを再生しているときは、「TITLE」と「CHAPTER」が表示されます。

ビデオCD/CDを再生しているときは、「TRACK」と「INDEX」が表示されます。ビデオCDでPBC再生をしているときは、「SCENE」が表示されます。



1 ↑/↓で「TITLE」または「CHAPTER」、「TRACK」、「INDEX」、「SCENE」を選ぶ。

「** (**)」が選ばれます (**は任意の数字)。かつこの数字はタイトル、チャプター、トラック、インデックス、シーンの総数です。



再生するタイトル／チャプター／トラック／インデックス／シーンを選ぶ

2 →または決定ボタンを押す。

「** (**)」が「-- (**)」に変わります。



3 数字ボタンでタイトル、チャプター、トラック、インデックス、シーンの数字を選んで、決定ボタンを押す。

選んだ場所を探し始めます。入力した数字を訂正するときは決定ボタンを押す前にクリアボタンを押してください。

選択を途中でやめるには

⌂リターンボタンを押します。

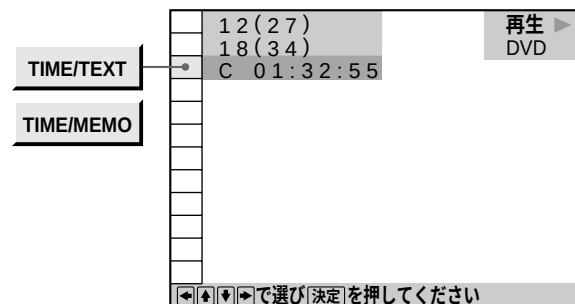
ご注意

- 表示されるタイトル、チャプター、トラックの数字はディスクに記録されているタイトル、チャプター、トラックの数字です。
- ビデオCDのPBC再生中はインデックスの数字は表示されません。

経過時間と残り時間を見る



再生中のタイトル、チャプター、トラックの経過時間と残り時間、ディスク全体の経過時間と残り時間を見られます。画面表示ボタンを押します。そのあと、リモコンの時間／テキストボタンを押して、時間表示を切り換えます。DVDテキストやCDテキスト、ディスクメモを見たり、ディスクメモを記録したりできます。32ページをご覧ください。



DVDを再生中

■ TIME/TEXTまたはTIME/MEMO

- C **:*:*:*:再生中のチャプターの経過時間
- C-*:*:*:*:再生中のチャプターの残り時間
- T **:*:*:*:再生中のタイトルの経過時間
- T-*:*:*:*:再生中のタイトルの残り時間

ビデオCDをPBC再生中

■ TIME/MEMO

- *:*:*:*:再生中のシーンの経過時間

ビデオCD (PBC再生中を除く) かCDを再生中

■ TIME/TEXTまたはTIME/MEMO

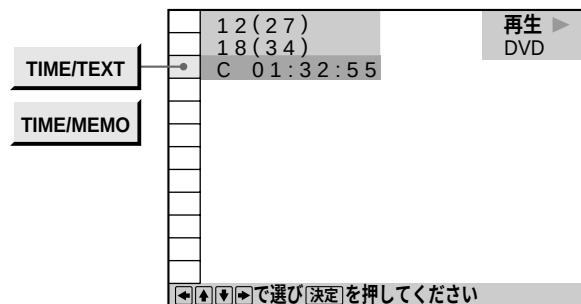
- T **:*:*:*:再生中のトラックの経過時間
- T-*:*:*:*:再生中のトラックの残り時間
- D **:*:*:*:再生中のディスクの経過時間
- D-*:*:*:*:再生中のディスクの残り時間

💡 リモコンを使って「TIME/TEXT」、「TIME/MEMO」の画面を表示できます

リモコンの時間／テキストボタンを押します。ボタンを押すたびに時間表示が変わります。

タイムコードを使って場面を探す

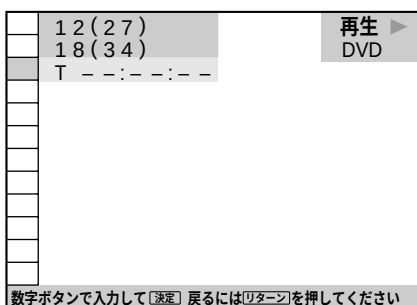
タイムコードを入力して場面を探すことができます。
画面表示ボタンを押したあと、「TIME/TEXT」か「TIME/MEMO」を選びます。
タイムコードはおよそ実際の経過時間に対応しています。例えば、始まりから2時間10分20秒過ぎた場面を探すには2:10:20と入力します。



- 1 DVDを再生中に「C **:*:*」(再生中のチャプターの経過時間)を選ぶ。



- 2 →または決定ボタンを押す。
タイムコードが「T --:--:--」に変わる。



- 3 数字ボタンを使ってタイムコードを入力し、決定ボタンを押す。
選んだ場所を探し始めます。入力した数字を訂正するときは決定ボタンを押す前にクリアボタンを押してください。

タイムコードの入力を途中でやめるには

→リターンボタンを押します。

 リモコンを使って「TIME/TEXT」、「TIME/MEMO」の画面を表示できます

リモコンの時間/テキストボタンを押します。

ご注意

タイムコードを入力するときは、タイトルの経過時間を入力してください。

ディスクの情報を見る



DVD

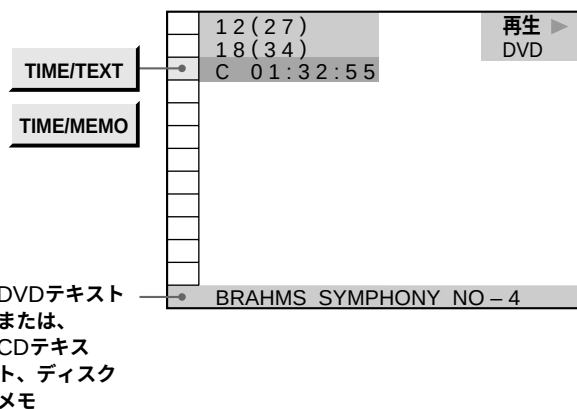
VIDEO
CD

CD

ディスクに記録されたDVDテキストやCDテキストを表示窓やテレビ画面で見ることができます。ビデオCDや、DVDテキストやCDテキストが記録されていないディスクには、ディスクに名前をつけることができます（DVDテキストやCDテキストは書き換えることはできません）。

画面表示ボタンを押します。DVDテキストまたはCDテキストが記録されたディスクのときは、「TIME/TEXT」が表示されます。ディスクに名前をつけることができるときは、「TIME/MEMO」が表示されます。DVDテキストか、CDテキスト、ディスクメモが表示されるまでリモコンの時間／テキストボタンを押します。

情報はテレビ画面の一番下に表示されます。



リモコンを使って「TIME/TEXT」、「TIME/MEMO」の画面を表示できます

リモコンの時間／テキストボタンを押します。情報を表示するには、情報が表示されるまで時間／テキストボタンを押します。

ご注意

英語のTEXT（テキスト）のみ表示できます。

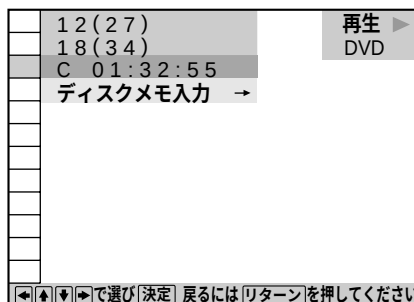
ディスクに名前をつける（ディスクメモ）

テキストが記録されていないディスクであれば、ディスクに名前をつけることができます。ディスクメモはそれぞれのディスクに20文字まで入力できます。

記録したディスクメモはディスクを取り出しても記録されています（200枚まで）。ディスクメモは、タイトルや、ミュージシャンの名前、カテゴリー、購入日時など好きなものを記録できます。

1 「TIME/MEMO」の「ディスクメモ入力」を選ぶ。

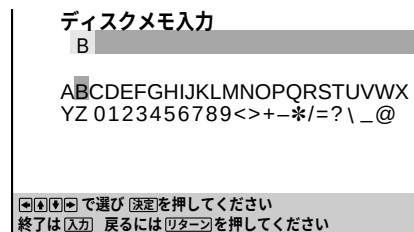
ディスクメモ入力画面が表示されます。



2 </>/</>/</>を押すか、クリックシャトルを回して文字を選ぶ。

ぶ。

選んだ文字の色が変わります。



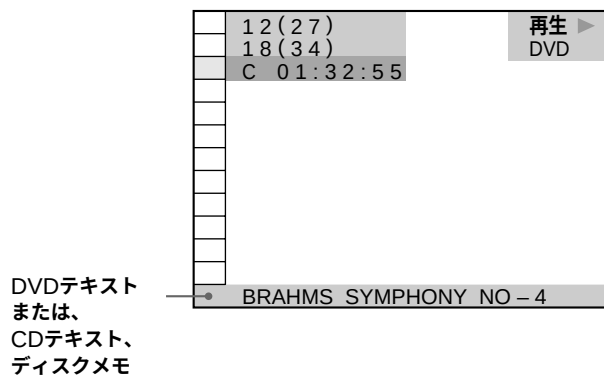
3 決定ボタンを押す。



4 手順2と3を繰り返して文字を入力する。

5 すべての文字を入力したら、リモコンの入力ボタンを押す。

ディスクメモが記憶されます。



文字を修正するには

- 文字を消すには
 - 1 **◀◀/▶▶**を押して、消したい文字にカーソルをあわせる。
 - 2 クリアボタンを押す。
- 文字を挿入したり上書きするには
 - 1 **◀◀/▶▶**を押して、修正したい文字にカーソルをあわせる。
 - 2 **←/↑/↓/→**を押すか、クリックシャトルを回して文字を選ぶ。
 - 3 文字を挿入するには、決定ボタンを押す。
文字を上書きするには、決定ボタンを押さずに、**▶▶**を押してカーソルを動かす。

 **リモコンを使ってディスクメモ入力画面を表示できます**
リモコンの入力ボタンを押します。

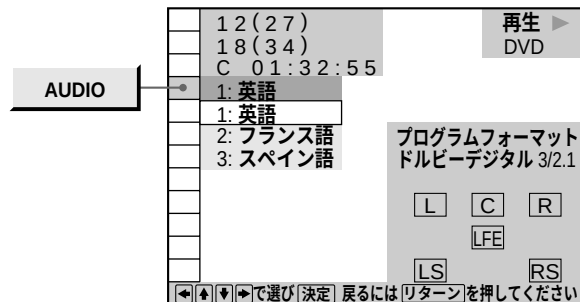
ご注意

ディスク200枚までディスクメモを記憶させることができます。200枚を超えると、古いディスクから上書きされます。

音声を切り換える



DVDの中には、複数の言語（マルチランゲージ）で音声記録されているものがあります。このようなDVDでは、再生中に好きな言語の音声に切り換えられます。またカラオケのビデオCDなどでは、音声を切り換えてボーカルのトラックを消せるものもあります（このときの音声はモノラルです）。画面表示ボタンを押したあと、「AUDIO」を選びます。



AUDIO

DVDを再生中

言語を選びます。選べる言語はDVDによって異なります。4桁の数字が表示されたときは言語コードを意味しています。「言語コード一覧表」（72ページ）を参照して選んでください。

ビデオCDまたはCDを再生中

- ステレオ：通常のステレオ再生
- 1/L：左チャンネルの音
- 2/R：右チャンネルの音

リモコンを使って「AUDIO」画面を表示できます

リモコンの音声ボタンを押します。

ご注意

- DVDによっては複数の言語が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- CD/ビデオCDのときは、電源を切ったりディスクトレイを開閉すると通常のステレオ再生に戻ります。
- DVDではタイトルを変えたり、ディスクトレイを開閉すると、音声切り換える場合があります。
- 4桁の数字で言語が表示されるときは「言語コード一覧表」（72ページ）を参照して選んでください。

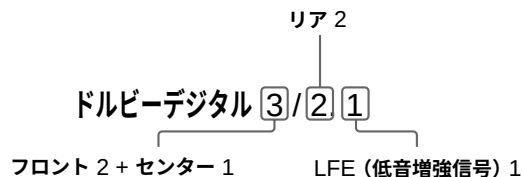
再生しているチャンネルを表示する DVD

「AUDIO」を選んだときに、現在再生中のDVDに記録されているチャンネル数を表示します。ドルビーデジタル方式では、モノラルから5.1chまでの信号がDVDに記録できます。記録されているチャンネル数はDVDにより異なります。



* 「PCM」あるいは「DTS」、「ドルビーデジタル」と表示されます。「ドルビーデジタル」のときは音声の含まれるチャンネルが数字で表示されます。

ドルビーデジタル5.1chの場合：

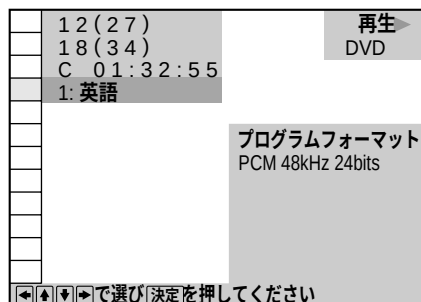


**チャンネル表示はスピーカーの有無にかかわらず、再生中のトラックに記録されている信号を表します。各記号は次のチャンネルを表しています。

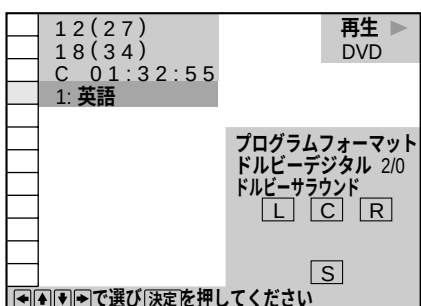
- L： フロント (L)
- R： フロント (R)
- C： センター (モノラル)
- LS： リア (L)
- RS： リア (R)
- S： リア (モノラル)：ドルビーサラウンド処理された2ch信号または、ドルビーデジタル信号のリア成分です。
- LFE： LFE (低音増強) 信号

画面表示の例

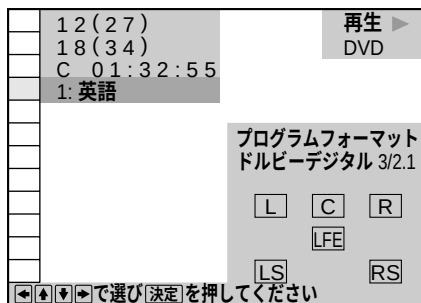
- PCM (ステレオ) のとき



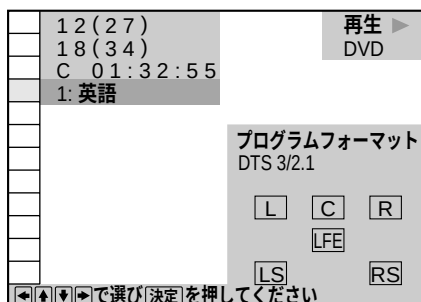
- ドルビーサラウンドのとき



- ドルビーデジタル5.1チャンネルのとき



- DTSのとき



 ドルビーデジタルサラウンド方式で記録されたソフトはパッケージを見ればわかります。

 のロゴのついたディスクをご使用ください。このロゴが付いていないと、ドルビーデジタルを使って再生できません。

DVDの中には、字幕が記録されているものがあります。この字幕は再生中であれば好きなときに表示したり消したりできます。またDVDに複数の言語で字幕が記録されているときは、再生中の好きなときに切り換えられます。例えば、字幕を表示して、語学学習に役立てたりすることが出来ます。

画面表示ボタンを押したあと、「SUBTITLE」を選びます。



SUBTITLE

言語を選びます。選べる言語はDVDによって異なります。4桁の数字が表示されたときは言語コードを意味しています。「言語コード一覧表」(72ページ)を参照して選んでください。



リモコンを使って「SUBTITLE」画面を表示できます

リモコンの字幕ボタンを押します。ボタンを押すたびに項目が切り換わります。

ご注意

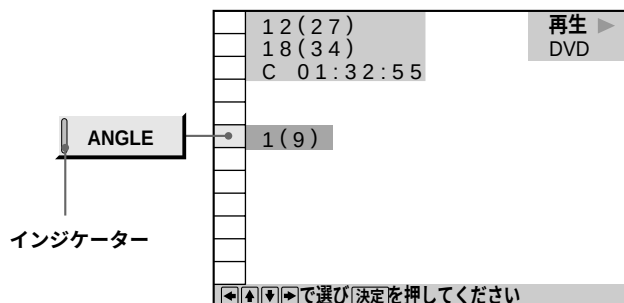
- 字幕が記録されていないディスクでは、字幕を表示させることはできません。
- DVDによっては字幕が記録されていても、字幕表示を禁止しているものがあります。
- DVDによっては、字幕を消すことを禁止している場合があります。
- 4桁の数字で言語が表示されるときは「言語コード一覧表」(72ページ)を参照して選んでください。
- 記録されている字幕の言語の種類や数はDVDによって異なります。
- DVDによっては複数の字幕が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- タイトルを変えたり、ディスクトレイを開閉すると、字幕が切り換わる場合があります。

アングルを切り換える DVD

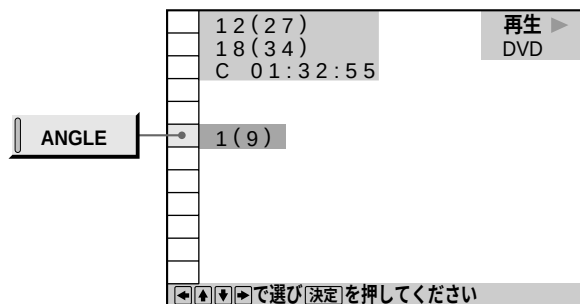
DVDの中には、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があります。このようなDVDでは、再生中、複数のアングルが記録されている部分で好きなアングルに切り換えながら見ることができます。

例えば、動いている電車のシーンの再生中に、電車の正面から見ていた景色を、左の窓からの景色や右の窓からの景色に電車の動きを止めることなく切り換えて見るができます。

画面表示ボタンを押したあと、「ANGLE」を選びます。アングルを変えられるときは「ANGLE」のアイコンのインジケータが緑に点灯します。

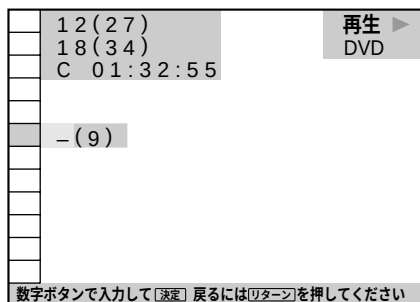


1 「ANGLE」を選ぶ。



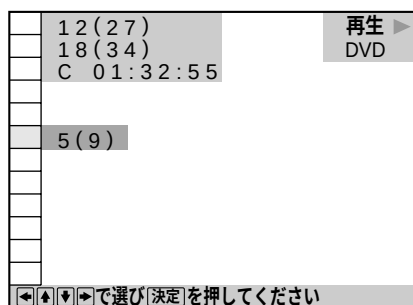
2 →を押す。

アングルの数字が「-」に変わります。カッコ内の数字はアングルの総数を示します。



3 数字ボタンまたは↑/↓を使ってアングルの数字を選び、決定ボタンを押す。

選んだアングルに切り換わります。



ご注意

- 切り換えられるアングルの数は、DVDによっても場面によっても異なります。DVDのその場面に記録されているアングルの数だけ切り換えることができます。
- DVDによっては複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。

💡 あらかじめアングルを指定しておくことができます。

表示窓に「ANGLE」と表示されていないときにアングルを決めておけば、アングルを切り換えられる場面で自動的にアングルが切り換わります。

💡 リモコンを使ってアングルを選べます。

リモコンのアングルボタンを押します。ボタンを押すたびにアングルが切り換わります。

💡 複数のアングルを同時に表示できます。(ANGLE VIEWER)

DVDに記録されているすべてのアングルを同時に表示できます。同時に表示したアングルからひとつのアングルを選んで、選んだアングルで再生を始めることができます。

アングルはテレビ画面に9分割されて表示されます。

詳しくは、47ページをご覧ください。

デジタルシネマサウンドの設定をする



ドルビーデジタルサラウンドなどのマルチチャンネルのサラウンド音声を楽しむことができます。

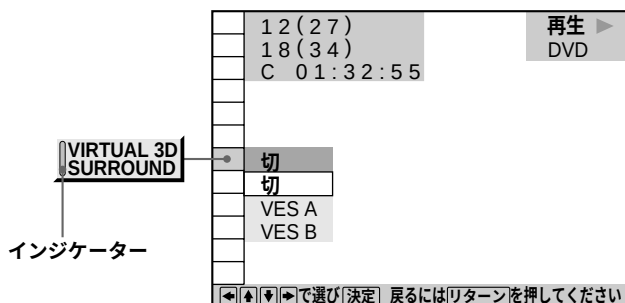
フロントスピーカーしかつないでいないときでも、バーチャルエンハンスサラウンド (VES) の機能で、ステレオ信号を3D立体音像処理することにより仮想サラウンドをお楽しみいただけます。

フロントスピーカーとリアスピーカーを2つずつつないでいるときには、VIRTUAL 3D SURROUNDの機能により、実際のリアスピーカーの位置とは違った位置にあるような効果を出したり (VIRTUAL REAR SHIFT)、仮想スピーカーを増やし、複数のスピーカーに包まれたような効果を出したり (VIRTUAL MULTI REAR) することができます。

5.1ch入力対応アンプをつないで、フロントスピーカーとリアスピーカーを2つずつと、サブウーファーをつないでいるときはより制作者の意図に近い音場が再現できます。画面表示ボタンを押したあと、「VIRTUAL 3D SURROUND」を選びます。「切」以外の項目を選んでいるときは「VIRTUAL 3D SURROUND」のアイコンのインジケーターが緑に点灯します。

ご注意

ドルビーデジタルサラウンドを十分に楽しむために、つないだスピーカーの位置や距離などを設定してください。スピーカーの設定については、61ページをご覧ください。



■ VIRTUAL 3D SURROUND

希望の項目を選びます。それぞれの項目について詳しくは、「各項目について」をご覧ください。

- 切
- VES A*
- VES B*
- NORMAL SURROUND
- ENHANCED SURROUND
- VIRTUAL REAR SHIFT
- VIRTUAL MULTI REAR

* 「VES A」「VES B」の設定は AUDIO OUT (1、2) 端子の出力にも影響します。

ご注意

表示される項目は「スピーカー設定」の設定により異なります。(61ページ)

DVDの再生中に設定画面の「スピーカー設定」の「大きさ」の「リア」で「なし」を選んでいないと、「切」あるいは、「VES A」、「VES B」のみ選べます。

各項目について

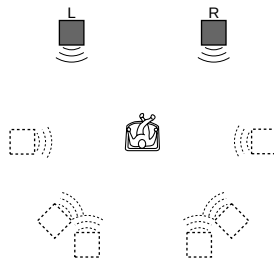
切

DVDに記録されている5.1chのすべての信号を出力します。ただし、スピーカーが5+1個接続されていないときは、接続されていないチャンネルの信号成分をスピーカーが接続されている他のチャンネルに振り分けて出力します。

CDやビデオCDを再生したときは、ステレオの信号をフロントスピーカーから出力します。

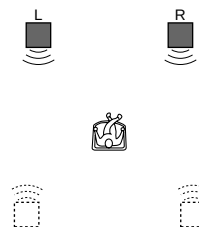
バーチャル エンハンス サラウンド VES (Virtual Enhanced Surround) A

3D立体音像処理により、実在するフロントスピーカーの音で、3組の仮想スピーカーを再現します。仮想スピーカーは下図のように再生されます。



バーチャル エンハンス サラウンド VES (Virtual Enhanced Surround) B

3D立体音像処理により、実在するフロントスピーカーの音で、1組の仮想スピーカーを再現します。仮想スピーカーは下図のように再生されます。



ノーマル サラウンド NORMAL SURROUND

マルチチャンネルのサラウンド音声信号のソフトが録音された通りに再生されます。2チャンネルの音声信号のソフトでは、サラウンド効果を再現するためにドルビープロロジック処理されます。

エンハンスド サラウンド ENHANCED SURROUND

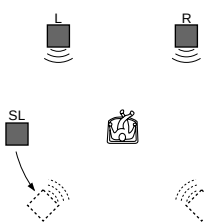
モノラルのリアチャンネルのプロロジック音声信号から臨場感のある音声を再現します。リアチャンネルでステレオのような音声を再現します。

バーチャル リア シフト VIRTUAL REAR SHIFT

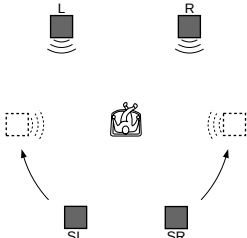
3D立体音像処理により、リアスピーカーの実際の位置から離れた、仮想リアスピーカーから音が出ているような臨場感を再現します。

仮想スピーカーは下図のように再生されます。仮想スピーカーの位置はリアスピーカーの設定により異なります(61ページ)。

設定が「サイド」のとき*



設定が「リア」のとき*



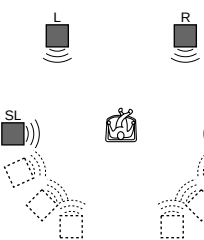
バーチャル マルチ リア VIRTUAL MULTI REAR

3D立体音像処理により、1組の実在するリアスピーカーを使用し、3組の仮想リアスピーカーから音が出ているような臨場感を再現します。

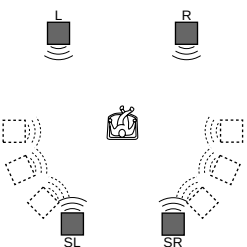
仮想スピーカーは下図のように再生されます。

仮想スピーカーの位置はリアスピーカーの設定により異なります(61ページ)。

設定が「サイド」のとき*



設定が「リア」のとき*



* リアスピーカーの位置の設定について詳しくは61ページをご覧ください。

- L: フロントスピーカー (L)
- R: フロントスピーカー (R)
- SL: リアスピーカー (L)
- SR: リアスピーカー (R)
- : 仮想スピーカー

ご注意

- ディスクによってはリア音声記録されていないものもあります。この場合、3Dサラウンドの効果は得られません。
- 項目を選んだときは一瞬音が途切れます。
- 「VES A」と「VES B」では再生する信号にサラウンド成分が含まれていない場合、効果がわかりにくかったり、音がひずむことがあります。
- フロントスピーカーだけをつないでお使いのときは、「NORMAL SURROUND」、「ENHANCED SURROUND」、「VIRTUAL REAR SHIFT」、「VIRTUAL MULTI REAR」は選べません。
- 「VES A」または「VES B」を選んでいるときは、リアスピーカーをつないでいてもリアスピーカーから音は出ません。
- 両方のフロントスピーカーがリスニングポジションから同じ距離に設置されていないときは、「VES A」または「VES B」を選んでも効果がわかりにくいことがあります。
- DIGITAL OUT (OPTICAL、COAXIAL) から音声を出している場合、設定画面の「オーディオ設定」で「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」にしているときのみ、サラウンドの効果は得られます。
- 96kHz音声を再生するときは、かならず「VIRTUAL 3D SURROUND」を「切」にしてください。「切」を選ばないと、48kHzに変換されて出力されます(DIGITAL OUT (OPTICAL、COAXIAL) から音声を出している場合を除く)。
- センタースピーカーとサブウーファーをつないでいるときは、センタースピーカーとサブウーファーからも音が出ます。「VES A」または「VES B」を選んでいるときは、センタースピーカーから音は出ません。
- 「VES A」または「VES B」を選んでいるときは、つないでいる機器(アンプなど)のサラウンドの設定は「切」にしてください。

本体のボタンを使って「VIRTUAL 3D SURROUND」の項目を選べます。

本体のVIRTUAL 3D SURROUNDボタンを押します。ボタンを押すたびに項目が切り換わります。

好きな順に再生する (プログラム再生)

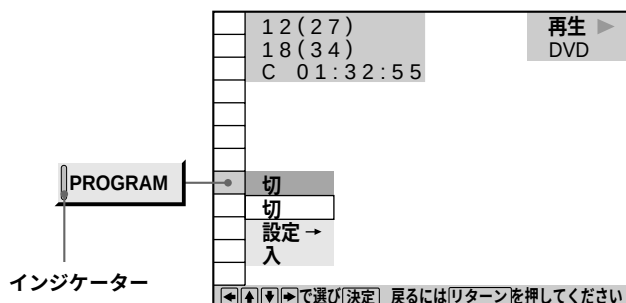


DVD

VIDEO
CD

CD

タイトルやチャプター、トラックを選んで好きな順に再生できます。最大99まで、再生したい順にプログラムできます。画面表示ボタンを押したあと、「PROGRAM」を選びます。「入」を選んでいいるときは「PROGRAM」のアイコンのインジケーターが緑に点灯します。



PROGRAM

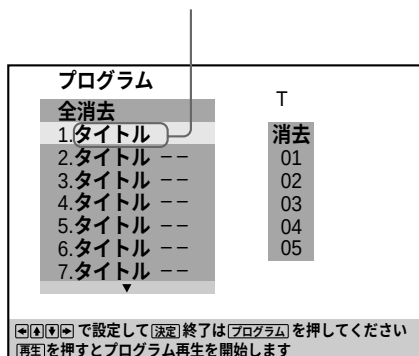
- 切：普通の再生
- 設定→：プログラムを設定する
- 入：プログラム再生

プログラムを設定する

1 「PROGRAM」の「設定→」を選ぶ。

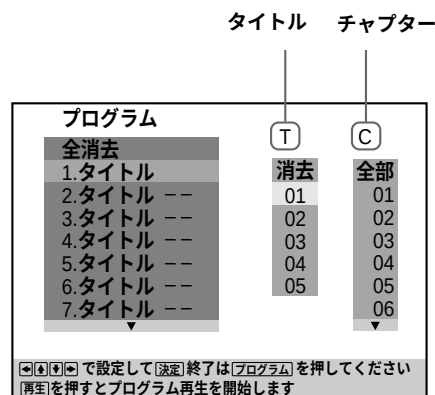
プログラム設定画面が表示されます。

CD/ビデオCDではトラックと表示されます



2 →を押す。

プログラム01が選ばれます。プログラムの最初のタイトルまたはトラックを設定します。

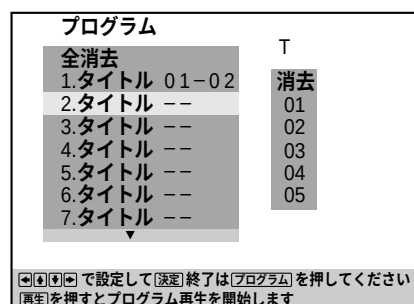
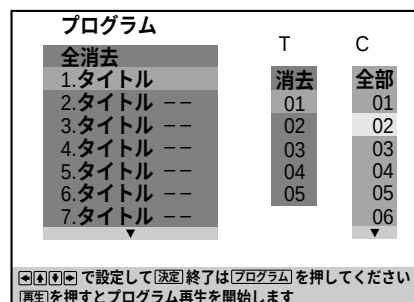


3 ↑/↓で再生したいタイトル/チャプター/トラックを選んで、決定ボタンを押す。

たとえばタイトルまたはトラック2を選びます。(数字ボタンで選んで、決定ボタンを押して選択することもできます。このとき選択した番号が画面に表示されます。)

DVDのとき

タイトルとチャプターの両方が記録されている場合は、タイトルを選んでから、チャプターを選択する。

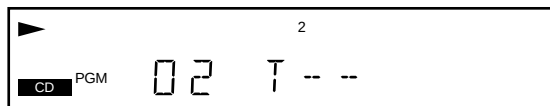
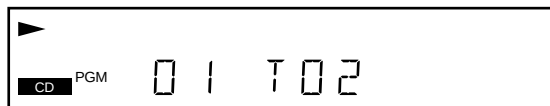
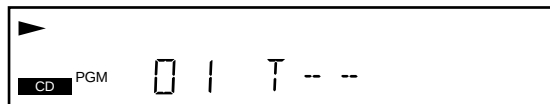
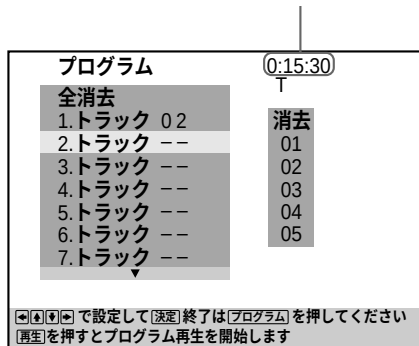


好きな順に再生する（プログラム再生）

■ CD/ビデオCDのとき

ディスクに記録されているトラックの中から再生するトラックを選ぶ。

プログラムしたトラックの総時間



4 他に再生するタイトル/チャプター/トラックを設定したいときは、手順3を繰り返す。

選択したタイトル/チャプター/トラックがプログラム設定画面の 02、03、... に順に表示されます。

5 ▷を押す。

設定した順に再生が始まります。

プログラム再生からふつうの再生に戻すときは

「PROGRAM」で「切」を選ぶか、本体のCLEARボタンまたはリモコンのクリアボタンを押します。

プログラムの設定をやめるときは

プログラムボタンを押します。

プログラムの設定を変更するときは

手順2で、↑/↓を使って変更したいプログラム番号を選びます。そのあと手順3の操作で新しい設定を入力します。

設定したプログラムを消すには

すべて消すときは、手順2で「全消去」を選びます。ひとつだけ消すときは、手順2で↑/↓を使って消したいプログラムを選んでクリアボタンを押すか、手順3で「消去」を選びます。

💡 プログラムすべての再生が終わっても、作ったプログラムは残っています。

▷を押すと、同じプログラムをもう1度再生します。

💡 設定したプログラムで「リピート再生」や「シャッフル再生」もできます。

プログラムを再生中に、くり返しボタンやシャッフルボタンを押してください。またはコントロールメニューディスプレイの「REPEAT」または「SHUFFLE」を「入」にしてください。

💡 リモコンを使って「PROGRAM」画面を表示できます。

リモコンのプログラムボタンを押します。

ご注意

- タイトル/チャプター/トラックはディスクに記録されている数だけ画面に表示されます。
- 次のときには設定したプログラムは消えます。
 - ディスクトレイを開閉したとき
 - 電源をOFFにしたとき
- DVDによってはプログラム再生ができない場合があります。
- ビデオCDのPBC再生時は、再生を止めてからプログラムを設定してください。

順不同に再生する (シャッフル再生)



DVD

VIDEO
CD

CD

ディスク上のタイトル番号やトラック番号に関係なく、本機がランダム（無作為）に順番を選んで、ひと通り再生します。再生する順番は、選ぶたびに変わります。画面表示ボタンを押したあと、「SHUFFLE」を選びます。「切」以外の項目を選んでいるときは「SHUFFLE」のアイコンのインジケーターが緑に点灯します。



ご注意

- 以下の場合は、次に再生するときふつうの再生に戻ります。
 - ディスクトレイを開閉したとき
 - 電源を切ったとき
- DVDによってはシャッフル再生ができない場合があります。
- 「チャプター」を選んだとき、ディスク中の200のチャプターまでシャッフル再生できます。

■ SHUFFLE

シャッフル再生の設定を選びます。

DVDを再生するときで「PROGRAM」を「切」にしているとき

- 切：シャッフル再生しません
- タイトル：タイトルを順不同にして再生します
- チャプター：チャプターを順不同にして再生します

ビデオCD、CD、DVDを再生するときで「PROGRAM」を「入」にしているとき

- 切：シャッフル再生しません
- 入：タイトルまたはトラックを順不同にして再生します

ビデオCD、CDを再生するときで「PROGRAM」を「切」にしているとき

- 切：シャッフル再生しません
- トラック：トラックを順不同にして再生します

「SHUFFLE」の項目を選んで、▶ボタンを押す。
シャッフル再生が始まります。

シャッフル再生からふつうの再生に戻すときは

「SHUFFLE」で「切」を選ぶか、本体のCLEARボタンまたはリモコンのクリアボタンを押します。

🔊 停止中でもシャッフル再生の設定ができます。

「SHUFFLE」で項目を選んで▶ボタンを押します。シャッフル再生が始まります。

🔊 ボタンを使って「SHUFFLE」画面を表示できます。

本体のSHUFFLEボタンまたはリモコンのシャッフルボタンを押します。

繰り返し再生する（リピート再生）



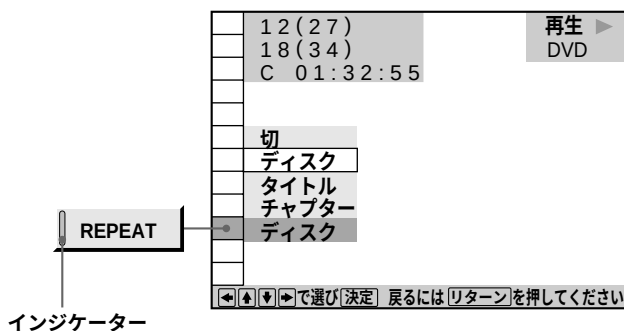
DVD

VIDEO
CD

CD

ディスク全体（全タイトル/全トラック）または1つのタイトル/チャプター/トラックだけ、1つのタイトル/チャプター/トラック内の再生したい部分だけを繰り返し再生できます。シャッフル再生やプログラム再生しているときは、シャッフル再生やプログラム再生での順序で繰り返し再生します。ビデオCDのPBC再生（23ページ）では、リピート再生できません。

DVDによってはリピート再生ができない場合があります。画面表示ボタンを押したあと、「REPEAT」を選びます。「切」以外の項目を選んでいるときは「REPEAT」のアイコンのインジケーターが緑に点灯します。



REPEAT

リピート再生の設定を選びます。

DVDを再生するときで「PROGRAM」と「SHUFFLE」を「切」にしているとき

- ・ 切：リピート再生しません
- ・ ディスク：すべてのタイトルを繰り返して再生します
- ・ タイトル：再生中のタイトルを繰り返して再生します
- ・ チャプター：再生中のチャプターを繰り返して再生します

ビデオCD、CDを再生するときで「PROGRAM」と「SHUFFLE」を「切」にしているとき

- ・ 切：リピート再生しません
- ・ ディスク：すべてのトラックを繰り返して再生します
- ・ トラック：再生中のトラックを繰り返して再生します

ビデオCD、CD、DVDを再生するときで「PROGRAM」と「SHUFFLE」を「入」にしているとき

- ・ 切：リピート再生しません
- ・ 入：プログラム再生、シャッフル再生を繰り返して再生します

リピート再生をやめるときは

「REPEAT」で「切」を選ぶか、本体のCLEARボタンまたはリモコンのクリアボタンを押します。



停止中でもリピート再生の設定ができます。

「REPEAT」で項目を選んで▷ボタンを押します。リピート再生が始まります。



ボタンを使って「REPEAT」画面を表示できます。

本体のREPEATボタンまたはリモコンのくり返しボタンを押します。

ご注意

電源を切ると、リピート再生は解除されます。

再生したい部分だけを繰り返す (A↔Bリピート)



DVD

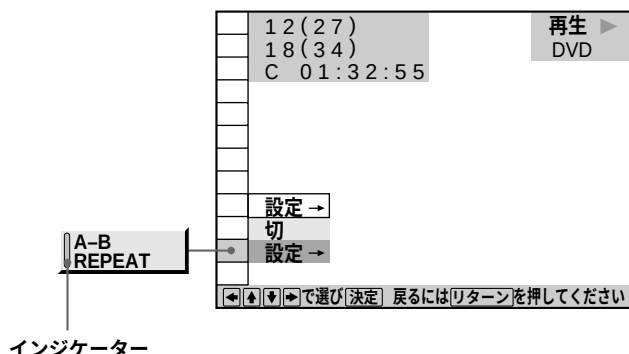
VIDEO
CD

CD

再生したい部分を指定して、繰り返し再生できます。語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。

ビデオCDのPBC再生 (23ページ) では、動画の再生中にだけできる操作です (動画の部分だけで繰り返す部分を指定できます)。

DVDによっては繰り返し再生ができない場合があります。画面表示ボタンを押したあと、「A-B REPEAT」を選びます。A↔Bリピート中は「A-B REPEAT」のアイコンのインジケーターが緑に点灯します。



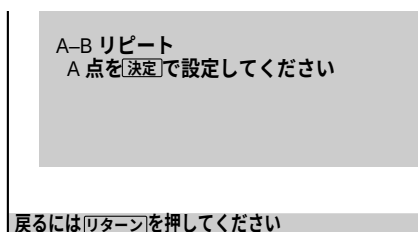
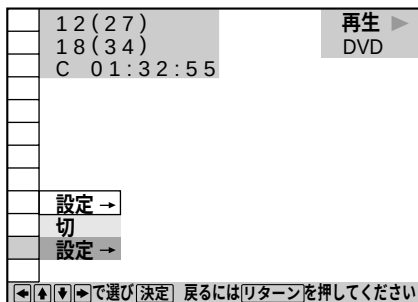
■ A-B REPEAT

- 設定→: 繰り返す部分の始点 (A点) と終点 (B点) を設定します
- 切: A↔Bリピート再生しません

繰り返す部分を設定する

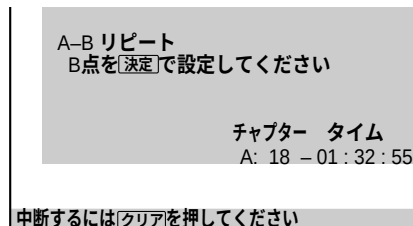
1 「A-B REPEAT」の「設定→」を選ぶ。

A↔Bリピート設定画面が出ます。



2 再生中に繰り返す部分の始点 (A点) で決定ボタンを押す。

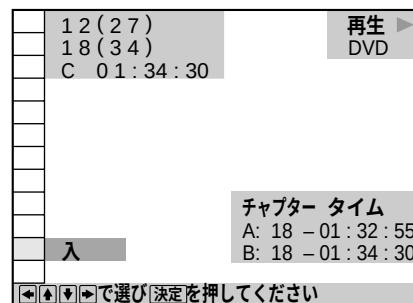
A点が設定されます。



3 繰り返す部分の終点 (B点) でもう1度決定ボタンを押す。

指定した部分が表示され、指定した部分をくり返し始めます。

A↔Bリピート中は表示窓の「A-B」が点灯します。



A↔Bリピートをやめるときは

「A-B REPEAT」で「切」を選ぶか、本体のCLEARボタンまたはリモコンのクリアボタンを押します。

ご注意

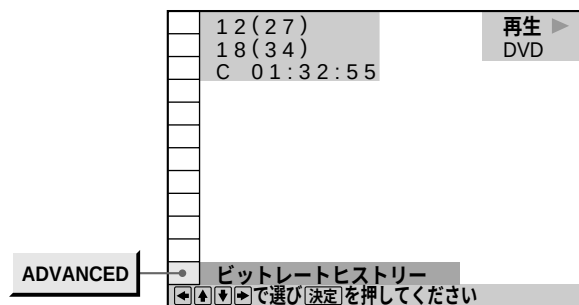
- A↔Bリピートが設定できるのは1か所のみです。
- 次のときには、設定したA↔Bリピートは消えます。
 - ディスクトレイを開閉したとき
 - 電源を切ったとき
- A↔Bリピートを設定すると、シャッフル再生やプログラム再生は解除されます。
- DVD、ビデオCDの場面によっては、A↔Bリピートの設定ができない場合があります。

再生の情報を見る DVD

ビットレートやビットレートヒストリー、再生中のディスクが読んでいる位置（レイヤー）についての情報を見ることができます。

再生中、およその映像のビットレートがMbps（Mega bit per second）で、音声のビットレートがKbps（Kilo bit per second）で表示されます。

画面表示ボタンを押したあと、「ADVANCED」を選びます。

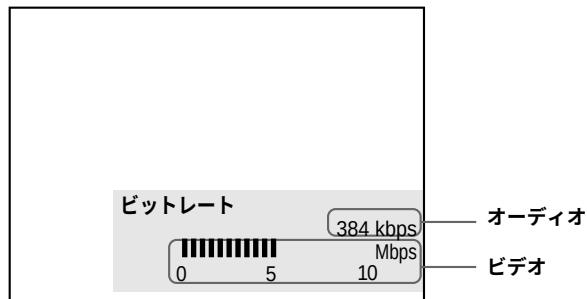


■ ADVANCED

- **ビットレート**：ビットレートを表示する
- **ビットレートヒストリー**：ビットレートとビットレートヒストリーを表示する
- **レイヤー**：レイヤーを表示する
- **消**：ADVANCED画面を消す

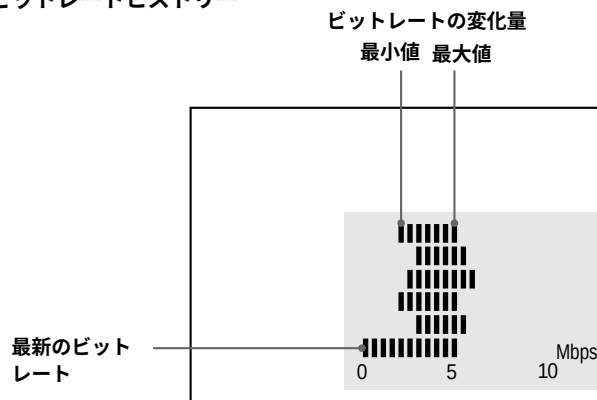
各項目の表示

ビットレート



ビットレートはDVDに圧縮して記録されている画像や音声の、1秒あたりの情報量を示す値です。画像の場合、単位はMbps（Mega bit per second）で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000ビットであることを表します。音声の場合、単位はKbps（Kilo bit per second）です。この値が大きいほど画像や音声の情報量は多くなりますが、必ずしも画質や音質とは直接関係しません。

ビットレートヒストリー



再生している映像の現在までのある期間のビットレートの推移を示します。

レイヤー



2層DVDの場合のみ表示

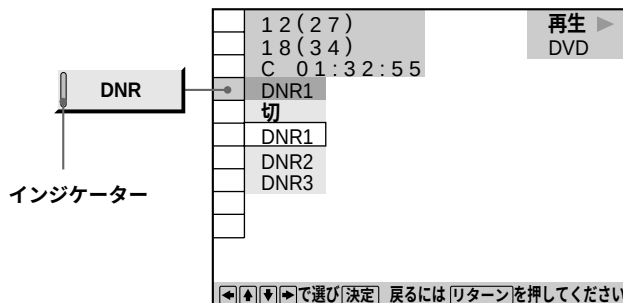
再生中のディスクが読んでいるおおよその位置を示します。2層のDVDではどちらのレイヤーが読まれているかも示します。レイヤーについて詳しくは71ページのDVDの項目をご覧ください。

画像のざらつきを減らす (DNR)*



画面に現れるざらつきを減らすことで、映像をはっきりさせることができます。

画面表示ボタンを押したあと、「DNR」を選びます。「切」以外の項目を選んでいるときは「DNR」のアイコンのインジケーターが緑に点灯します。



■ DNR

数字が大きくなるほど、画像のざらつきは軽減されますが、残像が出やすくなります。

- 切：DNR機能を切る
- DNR1
- DNR2
- DNR3

ご注意

- ディスクによってはDNR機能の効果がわかりにくいことがあります。
- テレビ画面に残像が現れたときはテレビのDNR機能を解除してください。さらにコントロールメニュー画面の「DNR」を「切」にしてください。

* DNRとは、デジタル ビデオ ノイズ リダクション Digital Video Noise Reductionの略です。

画質を調整する (VIDEO EQ) *



DVD

VIDEO
CD

部屋の明るさや映像の内容に合わせた画質設定を選べます。
また、「メモリー→」を選ぶと、画質をより細かく調整することができます。

画面表示ボタンを押したあと、「VIDEO EQ」を選びます。



VIDEO EQ

画質設定を選びます。

- スタンダード：標準的な画質になる
- ダイナミック：コントラストの強いメリハリの強い画質になる
- シネマ：やわらかな画質になる
- メモリー→：明るさや色あいなどを項目ごとに調整する

ビデオ イコライザー

* VIDEO EQとは、Video Equalizerの略です。

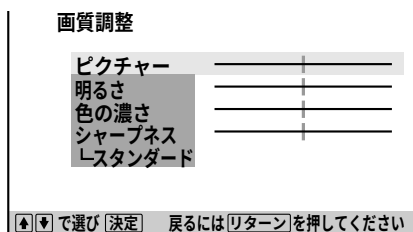
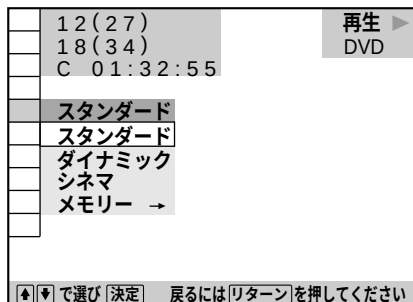
画質を項目ごとに調整する

次の項目を個々に調整できます。

- ピクチャー（明暗の差）
- 明るさ
- 色の濃さ
- シャープネス

1 「VIDEO EQ」の「メモリー→」を選ぶ。

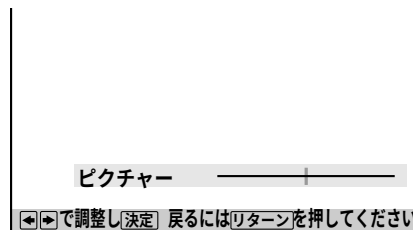
画質調整画面が表示されます。



2 調整したい項目を ↑/↓ で選んで、決定ボタンを押す。

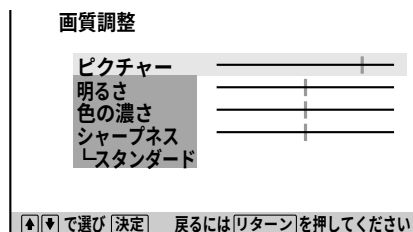
選んだ項目が表示されます。

調整を途中でやめたいときは決定ボタンを押す前に、 リターンボタンを押します。



3 ←/→ で選んだ項目を調整し、決定ボタンを押す。

設定値が記録されます。



4 他の項目を調整するときは、手順2、3を繰り返す。

画質の調整画面からコントロールメニュー画面に戻るには
 リターンボタンを押します。

 調整した項目をお買いあげ時の状態に戻すには
 「メモリー→」の「スタンダード」を選びます。

ご注意

「メモリー→」に記録できる設定は1つだけです。項目を調整すると前の設定は消えます。

複数のアングルを同時に見る

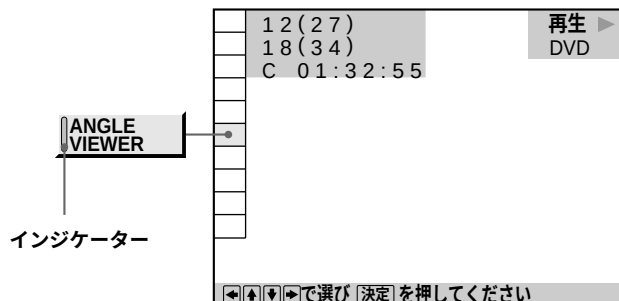


DVD

同じ場面が複数のアングルで記録されているDVDを再生するとき、記録されているすべてのアングルをまとめて見ることができます。そこからアングルを選んで見ることもできます。

アングルは9分割されて表示されます。

画面表示ボタンを押したあと、「ANGLE VIEWER」を選びます。「ANGLE VIEWER」を選ぶことができるときは「ANGLE VIEWER」のアイコンのインジケータが緑に点灯します。



1つのアングルを選ぶときは

←/↑/↓/→でアングルを選び、決定ボタンを押します。選んだアングルの画像だけが表示されます。

複数のアングルを同時に表示するのをやめるには

リターンボタンを押します。



表示窓でアングルの番号を見られます

選んでいるアングルの番号が表示窓に表示されます。

ご注意

- DVDによっては複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- 複数のアングルを同時に表示しているときに、複数のアングルが記録されていない場面になると普通の再生に戻ります。

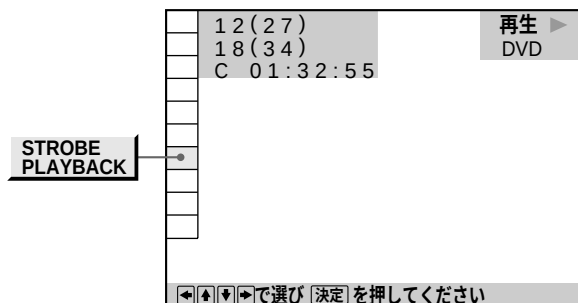
連続した9つの場面を表示させる (ストロボ再生)



DVD

VIDEO
CD

画面上に連続した9つの場面を表示させることができます。それぞれの画面は静止画になります。画面表示ボタンを押したあと、「STROBE PLAYBACK」を選びます。



ストロボ再生をやめるには

⏮ リターンボタンを押します

💡 一時停止中は停止している部分付近の画像が表示されます。特定の部分の静止画を見るときに便利です。

ご注意

ディスクによってはストロボ再生できない場面がある場合があります。

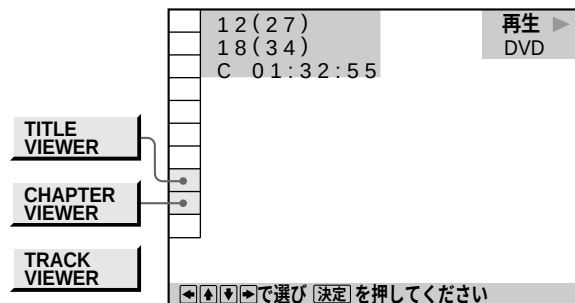
タイトル、チャプター、トラックを一覧で見る



DVD

VIDEO
CD

画面を9分割してディスクのタイトル、チャプター、トラックを見ることができます。選んだタイトル、チャプター、トラックから再生することもできます。画面表示ボタンを押したあと、「TITLE VIEWER」(DVDのみ)または、「CHAPTER VIEWER」(DVDのみ)、「TRACK VIEWER」(ビデオCDのみ)を選びます。



選んだ場面から再生を始めるには

←/→/↑/↓ で場面を選び、決定ボタンを押します。選んだ場面から再生が始まります。

💡 9以上のタイトルやチャプターがあるときは

画面の右下に▼が表示されます。一番右下(9の位置)の場面を選択し、↓で次のタイトルやチャプターを表示させます。前の画面に戻るには、一番左上(1の位置)の場面を選択し、↑を押します。



💡 表示窓でアングルの番号を見られます

選んでいるタイトル、チャプター、トラックの番号が表示窓に表示されます。

複数のアングルを同時に表示するのをやめるには

⏮ リターンボタンを押します。

ご注意

- ディスクによってはタイトル、チャプター、トラックを一覧で見られない場合があります。
- ビデオCDをPBC再生しているときは、トラックを一覧で見ることができません。

お気に入りの場面を登録する／選ぶ（ブックマーク）

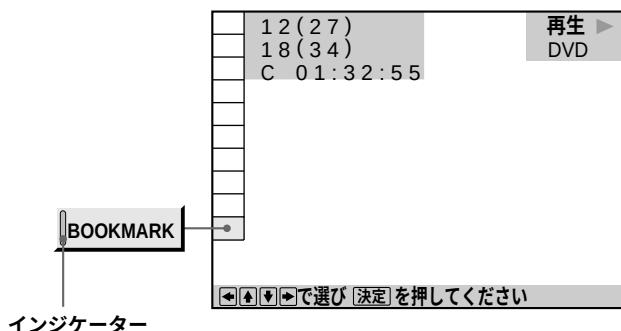


DVD

VIDEO
CD

ディスク上の指定した位置をメモリーに登録しておき（ブックマーク）、ブックマークとして登録した場面を同時に見て、登録した位置からすぐに再生することができます。1枚のディスクにつき9つまで、200枚までのディスクに位置を登録することができます。

画面表示ボタンを押したあと、「BOOKMARK」を選びます。ブックマークを登録したディスクを再生しているときは「BOOKMARK」のアイコンのインジケーターが緑に点灯します。



選んだブックマークとして登録した場面から再生を始めるには

←/↑/↓/→で場面を選び、決定ボタンを押します。選んだ場面から再生が始まります。

ブックマークとして登録した場面を表示するのをやめるには

⏮リターンボタンを押します。

ブックマークを消去するには

←/↑/↓/→でブックマークを解除したい場面を選び、クリアボタンを押します。

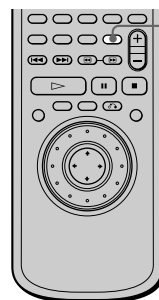
本機で記憶しているすべてのブックマークを消去するには

設定画面の「視聴設定」の「ブックマークリセット」を選びます。すべてのブックマークの消去について詳しくは、55ページをご覧ください。

ブックマークを登録する

再生中に、ブックマークを登録したい場面でリモコンのブックマークボタンを押す。

ブックマークが登録されます。



ブックマークボタン

ご注意

- ディスク200枚までブックマークを登録できます。200枚を超えると、古いブックマークから上書きされます。
- ディスクによってはブックマークを登録できない場合があります。

設定と調整

ここでは、設定画面を使った設定と調整について説明します。

本機を初めてお使いになるときに必要な設定もあります。

付属のリモコンを使ったテレビやアンプの操作についてもここで説明しています。

設定画面での設定/調整のしかた



DVD

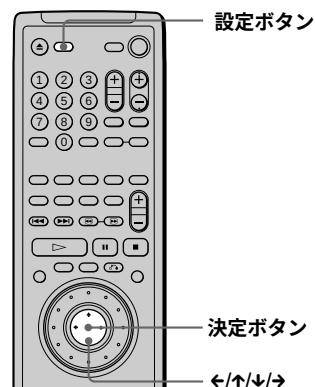
VIDEO
CD

CD

設定画面を使って、初期設定や画質や音質の調整、さまざまな出力の設定などができます。また DVD を再生するときの、字幕の言語やメニューの表示言語、視聴年齢制限の設定などもできます。設定画面の項目の詳しい内容は53～64ページをご覧ください。

ご注意

設定画面は本機が停止しているときのみ表示できます。



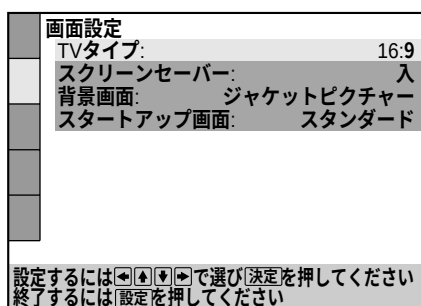
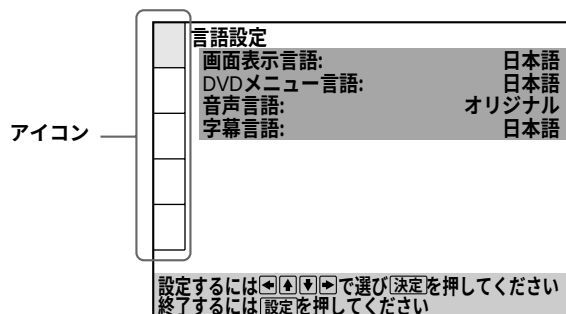
1 設定ボタンを押す。

設定画面が出ます。

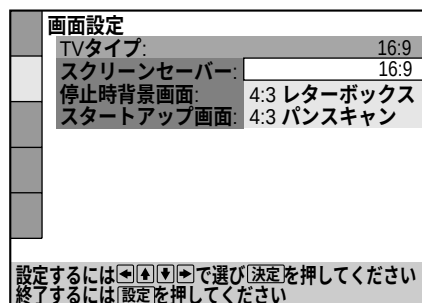
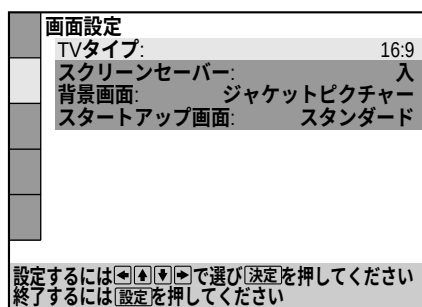
言語設定	
画面表示言語:	日本語
DVDメニュー言語:	日本語
音声言語:	オリジナル
字幕言語:	日本語
設定するには[←][→][↑][↓]で選び[決定]を押してください 終了するには[設定]を押してください	

2 ↑/↓ でアイコンを選んで、決定ボタンを押す。

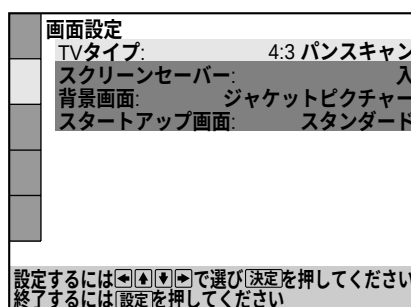
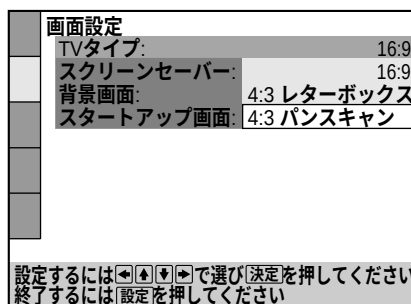
アイコンが選ばれます。



3 ↑/↓ で項目を選んで、→ または決定ボタンを押す。



4 ←/↑/↓/→ で項目を選んで、決定ボタンを押す。



設定画面の設定を途中でやめるには

リモコンの設定ボタンを押します。

ご注意

設定画面の項目には、その中で項目を選ぶ以外の操作が必要なものもあります。このような項目について詳しくは、次ページの各項目に記されている参照ページをご覧ください。

設定画面項目一覧表

お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

言語設定 (page 53)

- 画面表示言語
 - 日本語
 - ENGLISH
- DVDメニュー言語
 - 日本語
 - 英語
 - 中国語
 - ドイツ語
 - フランス語
 - イタリア語
 - スペイン語
 - ポルトガル語
 - オランダ語
 - デンマーク語
 - スウェーデン語
 - フィンランド語
 - ノルウェー語
 - ロシア語
 - その他 →
- 音声言語
 - オリジナル
 - (DVDメニュー言語と同じ)
- 字幕言語
 - 日本語
 - 音声連動
 - (DVDメニュー言語と同じ)

画面設定 (page 54)

- TV タイプ
 - 16:9
 - 4:3 レターボックス
 - 4:3 パンスキャン
- スクリーンセーバー
 - 入
 - 切
- 背景画面
 - ジャケットピクチャー
 - ピクチャーメモリー
 - グラフィックス
 - 青
 - 黒
- スタートアップ画面
 - スタンダード
 - ピクチャーメモリー

視聴設定 (page 55)

- 自動再生
 - 切
 - タイマー
 - デモ 1
 - デモ 2
- 表示窓の明るさ
 - 明
 - 暗
 - 消
- 一時停止モード
 - 自動
 - フレーム
- ブックマークリセット →
- 視聴年齢制限 →
- プレイバックメモリー
 - 入
 - 切

オーディオ設定 (page 58)

- オーディオ ATT
 - 切
 - 入
- オーディオフィルター
 - シャープ
 - スロー
- オーディオ DRC
 - スタンダード
 - テレビ
 - ワイドレンジ
- 音声トラック自動選定モード
 - 切
 - 入
- ダウンミックス
 - ドルビーサラウンド
 - ノーマル
- 音声デジタル出力
 - 入
 - ドルビーデジタル
 - DTS
 - 切

スピーカー設定 (page 61)

- 大きさ
 - フロント
 - センター
 - リア
 - サブウーファー
- 距離
 - フロント
 - センター
 - リア
- バランス調整
 - フロント
 - リア
- レベル調整
 - センター
 - リア
 - サブウーファー
- テストトーン
 - 切
 - 入



DVD

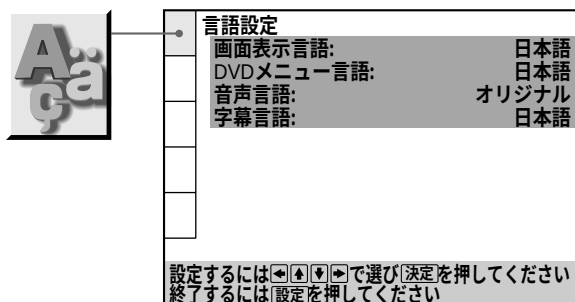
VIDEO
CD

CD

設定ボタンを押したあと、「言語設定」を選びます。
再生するときの表示や音声の言語を設定します。お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

ご注意

DVDに記録されていない言語を選んだときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます(「画面表示言語」を除く)。



■ 画面表示言語

画面の表示言語を切り換えます。

- 日本語
- ENGLISH

■ DVDメニュー言語

DVDに記録されているDVDメニューの言語を切り換えます。

- 日本語
- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語
- オランダ語
- デンマーク語
- スウェーデン語
- フィンランド語
- ノルウェー語
- ロシア語
- その他→

「その他→」を選んだときは、72ページの言語コード一覧表から言語番号を選んで数字ボタンで入力してください。
言語コードを一旦選ぶと、次からは4桁の数字の言語コードが表示されます。

■ 音声言語

DVDに記録されている音声の言語を切り換えます。

- オリジナル：ディスク内で優先されている言語
- 日本語
- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語
- オランダ語
- デンマーク語
- スウェーデン語
- フィンランド語
- ノルウェー語
- ロシア語
- その他→

「その他→」を選んだときは、72ページの言語コード一覧表から言語番号を選んで数字ボタンで入力してください。
言語コードを一旦選ぶと、次からは4桁の数字の言語コードが表示されます。

■ 字幕言語

DVDに記録されている字幕の言語を切り換えます。

- 日本語
- 音声連動*
- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語
- オランダ語
- デンマーク語
- スウェーデン語
- フィンランド語
- ノルウェー語
- ロシア語
- その他→

「その他→」を選んだときは、72ページの言語コード一覧表から言語番号を選んで数字ボタンで入力してください。
言語コードを一旦選ぶと、次からは4桁の数字の言語コードが表示されます。

*「音声連動」を選ぶと、音声の言語に合わせて字幕の言語が切り換わります。

ご注意

「視聴設定」で「プレイバックメモリー」が「入」に設定されているときは、コントロールメニューの「AUDIO (音声言語)」と「SUBTITLE (字幕言語)」で選んだ設定が優先され、設定画面で選んだ設定の言語が出ない場合があります。プレイバックメモリー機能について詳しくは56ページをご覧ください。



設定ボタンを押したあと、「画面設定」を選びます。
接続するテレビの形状などを設定します。お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

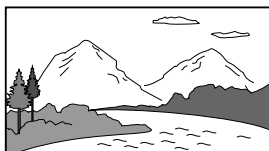


■ TVタイプ

接続するテレビのアスペクト比および通常のテレビでDVDのワイド画像を再生するときに出力する画面の形を設定します。

- **16:9**：ワイドテレビまたは、ワイドモードのある通常のテレビで見るとき。
- **4:3 レターボックス**：通常のテレビで、ワイド画像を横長に表示して画面の上下には帯を入れるとき。
- **4:3 パンスキャン**：通常のテレビに、ワイド画像の一部を自動的にカットして画面全体に表示するとき。

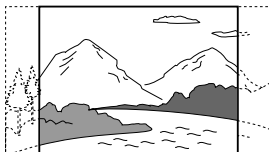
16:9



4:3 レターボックス



4:3 パンスキャン



■ ご注意

DVDによっては「4:3レターボックス」あるいは「4:3パンスキャン」にしている、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

■ スクリーンセーバー

一時停止か停止したままで15分たつとCDを15分以上再生すると、スクリーンセーバーの画面に切り換わるよう設定します。これは画像の焼き付き（残像現象）を防ぐのに役立ちます。

- **入**：スクリーンセーバーを使う。
- **切**：スクリーンセーバーを使わない。

■ 背景画面

停止中やCD再生中などの、画面の背景色や背景画面を設定します。

- **ジャケットピクチャー**：ディスク（CD-EXTRAなど）にあらかじめ記録されているジャケットピクチャー（静止画像）を背景画面にする。
- **ピクチャーメモリー**：あらかじめ自分で本機に記憶させた画像を背景画面にする。画像を記憶させる方法は「画像を記憶させる」（55ページ）をご覧ください。
- **グラフィックス**：あらかじめ本機に記憶されているグラフィックピクチャーを背景画面にする。
- **青**：画面の背景色を「青」にする。
- **黒**：画面の背景色を「黒」にする。

■ ご注意

「ジャケットピクチャー」を選んでいるときに、ジャケットピクチャーが記録されていないディスクを再生すると、「グラフィックス」の画像が自動的に表示されます。

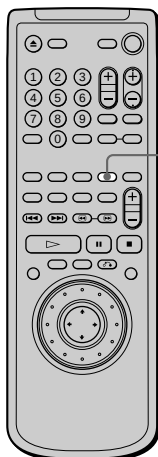
■ スタートアップ画面

本機の電源を入れたときに現れるスタートアップ画面を設定します。

- **スタンダード**：あらかじめ本機に記憶されている画像をスタートアップ画面に設定する。
- **ピクチャーメモリー**：あらかじめ自分で本機に記憶させた画像をスタートアップ画面にする。画像を記憶させる方法は「画像を記憶させる」（55ページ）をご覧ください。

画像を記憶させる

再生中に記憶させたい画像を表示させて、リモコンのピクチャーメモリーボタンを押す。
画像が記憶されます。



ピクチャーメモリー
ボタン

ご注意

- 本機に記憶できる画像は1つだけです。記憶された画像がピクチャーメモリーとして、背景画面とスタートアップ画面の両方で使われます。
- 画像を記憶させると、前に記憶させていた画像は消えます。
- 画像を記憶させている途中で他の操作をすると、画像は記憶されません。

視聴に関する設定 (視聴設定)

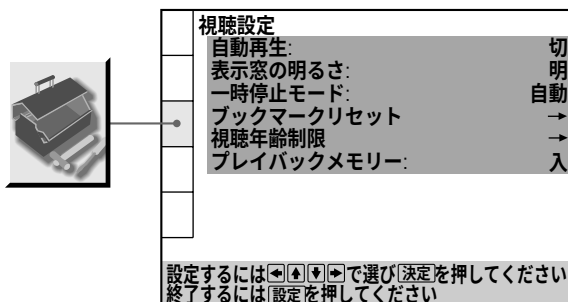


DVD

VIDEO
CD

CD

設定ボタンを押したあと、「視聴設定」を選びます。
視聴年齢制限などを設定します。お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。



■ 自動再生

コンセントを入れたときの動作を設定します。

- 切：「タイマー」、「デモ1」、「デモ2」を使わないで起動する。
- タイマー：電源が入ったとき、自動で再生を始める。別売りのタイマーを使って希望の時刻に再生を始めることができます。
- デモ1：デモンストレーション1を再生する。
- デモ2：デモンストレーション2を再生する。

■ 表示窓の明るさ

本体前面の表示窓の明るさを調整します。

- 明：明るくする。
- 暗：暗くする。
- 消：表示を消す。

■ 一時停止モード (DVDのみ)

一時停止にしたときの画像のモードを設定します。

- 自動：大きく動きのある被写体のある画像がぶれずに見られる。通常は「自動」にしておきます。
- フレーム：動きの少ない被写体の画像が高い解像度で見られる。

■ ブックマークリセット

「ブックマークリセット」を選ぶと、ブックマークリセット画面が表示されます。そこで、決定ボタンを押すと、本機に登録しているすべてのブックマークが消去されます。

■ 視聴年齢制限

視聴年齢制限のあるDVDの再生を制限する設定をします。
詳しくは「年齢による視聴制限をする」(56ページ)をご覧ください。

視聴に関する設定（視聴設定）

■ プレイバックメモリー

各ディスクごとの「SUBTITLE」や「VIDEO EQ」などの設定をディスク200枚まで本機に記憶させておくことができます（プレイバックメモリー）。プレイバックメモリーの機能でディスクの設定を記憶させるかどうかの設定をします。

- ・入：ディスクを取り出すときに設定を記憶する。
- ・切：設定を記憶しない。

次の設定がプレイバックメモリー機能で記憶されます。

- AUDIO (34ページ)
- SUBTITLE (35ページ)
- ANGLE (36ページ)
- VIRTUAL 3D SURROUND (37ページ)
- VIDEO EQ (46ページ)
- DNR (45ページ)

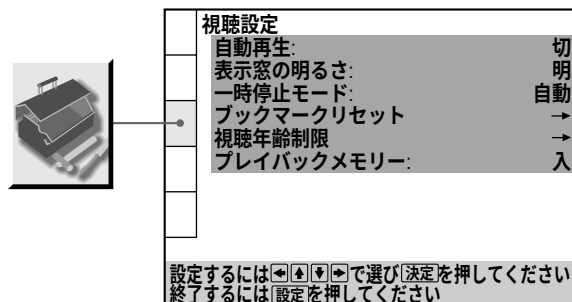
ご注意

本機のプレイバックメモリー機能で記憶できるディスクは200枚までです。200枚をこえると、記憶された順序の古いものから記憶が消えます。

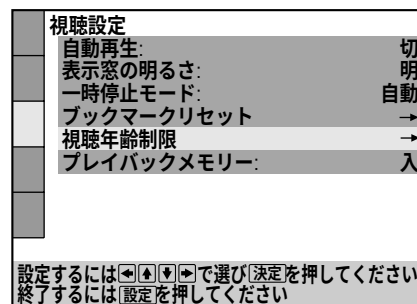
年齢による視聴制限をする **DVD**

設定ボタンを押したあと、「視聴設定」を選びます。

DVDの中には、見る人の年齢によって視聴を制限できるものがあります。本機には、この視聴制限レベルを設定しておく機能があります。

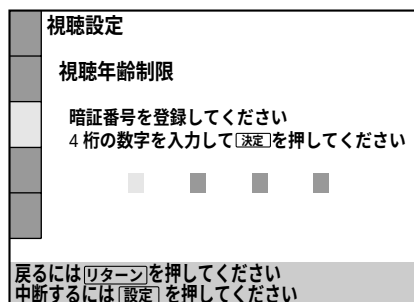


1 ↑/↓で「視聴年齢制限」を選んで、決定ボタンを押す。



■ 暗証番号がまだ登録されていないとき

「視聴年齢制限」の暗証番号入力画面が表示されます。



■ 暗証番号がすでに登録されているとき

「視聴年齢制限」の暗証番号確認の画面が出るので、手順2をとばして手順3に進みます。

視聴設定	
視聴年齢制限	
暗証番号を入力して「決定」を押してください	
戻るには「リターン」を押してください 中断するには「設定」を押してください	

2 設定したい4けたの暗証番号を数字ボタンで入力し、決定ボタンを押す。

決定ボタンを押すと数字は「*」に変わり、暗証番号確認の画面になります。

視聴設定	
視聴年齢制限	
確認のため、登録した4桁の数字を再入力して「決定」を押してください	
戻るには「リターン」を押してください 中断するには「設定」を押してください	

3 確認のため、設定した暗証番号を数字ボタンで入力し、決定ボタンを押す。

視聴制限のレベル設定と暗証番号の変更の画面が表示されます。

視聴設定	
視聴年齢制限	
レベル:	切
使用する地域:	アメリカ
暗証番号変更	→
設定するには「←」「↑」「↓」「→」で選び「決定」を押してください 中断するには「設定」を押してください	

4 ↑/↓ で「使用する地域」を選んで、→を押す。

視聴設定	
視聴年齢制限	
レベル:	切
使用する地域:	アメリカ
暗証番号変更	→
設定するには「←」「↑」「↓」「→」で選び「決定」を押してください 中断するには「設定」を押してください	

5 ↑/↓ で視聴制限レベルの基準にする地域を選んで、→を押す。

「その他→」を選んだときは、次ページの表を見て地域コードを数字ボタンで入力します。

視聴設定	
視聴年齢制限	
レベル:	切
使用する地域:	アメリカ
暗証番号変更	アメリカ その他→
設定するには「←」「↑」「↓」「→」で選び「決定」を押してください 中断するには「設定」を押してください	

6 ↑/↓ で「レベル」を選んで→を押す。

視聴設定	
視聴年齢制限	
レベル:	切
使用する地域:	切
暗証番号変更	8: 7: NC17 6: R 5: ▼
設定するには「←」「↑」「↓」「→」で選び「決定」を押してください 中断するには「設定」を押してください	

7 ↑/↓ で設定するレベルを選んで、決定ボタンを押す。

視聴設定	
視聴年齢制限	
レベル:	4: PG13
使用する地域:	アメリカ
暗証番号変更	→
設定するには「←」「↑」「↓」「→」で選び「決定」を押してください 中断するには「設定」を押してください	

レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

視聴に関する設定 (視聴設定)

通常の画面に戻すときは

設定ボタンを押します。

暗証番号を設定したあとで、視聴年齢制限を解除してDVDを再生するときは

手順7で「切」を選んで再生します。

暗証番号を変更したいときは

手順3で $\uparrow/\downarrow$ を使って「暗証番号変更」を選択して、 $\rightarrow$ または決定ボタンを押すと、暗証番号変更の画面が出ます。このあともう1度手順2から手順3の操作をすれば、新しい暗証番号が登録されます。

DVDを入れた直後に視聴年齢制限を解除できます (視聴年齢制限一時解除)

視聴制限レベルを設定してDVDを入れると、視聴年齢制限の暗証番号入力画面が出ます。暗証番号を入力すると、視聴年齢制限が一時解除されます。DVDの再生をやめると、視聴制限レベルはもとに戻ります。

設定した暗証番号を忘れてしまったときは

手順2で暗証番号の代わりに数字「199703」を入力します。これにより以前の暗証番号が消えます。暗証番号を再度設定するときは、もう1度手順2からやり直してください。

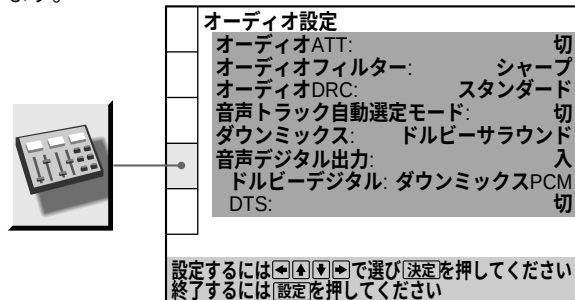
ご注意

- ・ 視聴年齢制限がないDVDは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。
- ・ 暗証番号の設定をしないと、設定値の変更ができません。
- ・ DVDによっては、再生中に視聴制限レベルの変更を要求されることがあります。このときは暗証番号を入力してレベルを変更してください。なお、停止すると元のレベルに戻ります。

使用する地域	コード番号	使用する地域	コード番号
イギリス	2184	中国	2092
イタリア	2254	デンマーク	2115
インドネシア	2238	ドイツ	2109
オーストリア	2046	日本	2276
オランダ	2376	ノルウェー	2379
カナダ	2079	フィリピン	2424
シンガポール	2501	フィンランド	2165
スイス	2086	フランス	2174
スウェーデン	2499	ベルギー	2057
スペイン	2149	香港	2219
タイ	2528	マレーシア	2363
台湾	2543	ロシア	2489

音声に関する設定 (オーディオ設定)

設定ボタンを押したあと、「オーディオ設定」を選びます。再生するときの音の設定を、まわりの条件に合わせて設定します。お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。



■ オーディオATT

接続する機器に合わせてAUDIO OUT (1、2) 端子および5.1 OUTPUT端子からの出力を調整します。

- ・ 切：「オーディオATT」を働かせない。
- ・ 入：音が歪まないように出力レベルを低くする。

ご注意

DIGITAL OUT端子からの出力には影響しません。

■ オーディオフィルター

22.05kHz (Fs - サンプリング周波数 - 44.1kHzのとき)、24kHz (Fs 48kHz)、48kHz (Fs 96kHz) 以上の雑音を除くために使うデジタルフィルターのタイプを設定します。

- ・ シャープ：なめらかな音質で明瞭な音像定位が得られる。通常は「シャープ」にしておきます。
- ・ スロー：雰囲気のあるあたたかい音で奥行き感が得られる。

ご注意

ディスクによっては、効果がわかりにくいことがあります。

■ オーディオDRC (Dynamic Range Control)

DVDを夜間など音量を下げて聞くときに、小さい音までよく聞こえるようにします。この機能は、AUDIO OUT (1、2) 端子および5.1 OUTPUT 端子からの出力、「音声デジタル出力」を「入」に設定し、「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」に設定したときのDIGITAL OUT端子の出力にはたらきます。

- ・ スタンダード：通常は「スタンダード」にしておく。
- ・ テレビ：小さい音までよく聞こえるようにする。特に、テレビのスピーカーを使って音を聞いているときにおすすめします。
- ・ ワイドレンジ：臨場感のある音になる。高品質のスピーカーを使っているときは特に効果的です。

ご注意

- オーディオDRC機能のないDVDを再生しているときは、効果がありません。
- オーディオDRCを「ワイドレンジ」に設定しているときは、5.1CH OUTPUT端子以外からの音量は通常より小さくなります。
- 設定画面の「スピーカー設定」の「大きさ」で「なし」を選んでいいるものと、「ワイドレンジ」は選べません。

■ 音声トラック自動選定モード

複数の音声方式が記録されているDVDを再生するときに、チャンネル数の最も多い方式（PCM、DTS、ドルビーデジタル）の音声を優先して再生するかどうかを設定します。

- 切：優先しない。
- 入：優先する。

ご注意

- プレイバックメモリ機能で本機が設定を記憶しているときは、「入」を選んでいてもチャンネル数の多い音声優先されない場合があります。
- この設定を「入」にすると、言語が切り換わることがあります。これは「音声トラック自動選定モード」の設定が「言語設定」の「音声言語」（53ページ）より優先されるためです。
- 「オーディオ設定」の「音声デジタル出力」で「入」を選んで、「DTS」を「切」に設定していると、「音声トラック自動選定モード」で「入」を選んで、DTS音声チャンネル数が最も多くても、DTS音声は再生されません。
- PCM、DTS、ドルビーデジタルのチャンネル数が同じだった場合、PCM、DTS、ドルビーデジタルの順で優先されます。
- DVDによっては優先する音声があらかじめ決められていて、「入」に設定しても優先されないことがあります。

■ ダウンミックス*

ドルビーデジタル方式で記録されているDVDを再生するときの、ダウンミックスの方式を切り換えます。

- ドルビーサラウンド：ドルビーサラウンド、ドルビープロロジックサラウンドなどに対応しているオーディオ機器に接続して音を出すときに選ぶ。
- ノーマル：通常のオーディオ機器に接続して音を出すときに選ぶ。

*「ダウンミックス」の設定はAUDIO OUT（1、2）端子とDIGITAL OUT（光、同軸）端子の出力に影響します。

■ 音声デジタル出力

本体後面のDIGITAL OUT 端子から出力する音声信号の方式を切り換えます。

- 入：通常は「入」にしておく。「入」を選んだら、「ドルビーデジタル」、「DTS」を設定してください。「ドルビーデジタル」と「DTS」の設定について詳しくは、「音声デジタル出力の信号を設定する」（60ページ）をご覧ください。
- 切：本体後面のDIGITAL OUT 端子から出力しない。「切」を選ぶとデジタル回路がアナログ回路に与える影響を最小限に抑えられます。

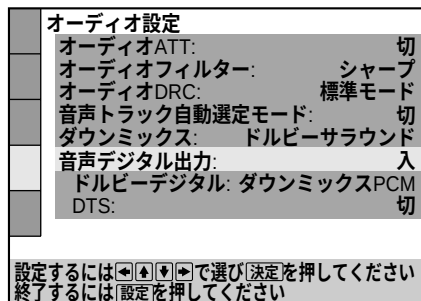
ご注意

- サンプリング周波数96kHzのサウンドトラックを再生しているとき、DIGITAL OUT 端子から出力する信号は48kHzに変換されて出力されます。AUDIO OUT端子から出力する信号は96kHzのままアナログ信号に変換されて出力されます。
- 「切」を選んでいいるとき、「ドルビーデジタル」、「DTS」を設定できません。

音声デジタル出力の信号を設定する

「音声デジタル出力」で「入」を選んだら、「ドルビーデジタル」、「DTS」を設定してください。光デジタル接続コードや同軸デジタル接続コードを使ってDIGITAL OUT端子に、デジタル端子付きのアンプやDTSデコーダー内蔵のオーディオ機器、MDデッキ、DATデッキをつなぐときの音声デジタル出力を設定します。

接続について詳しくは、15ページをご覧ください。



■ ドルビーデジタル

DIGITAL OUT 端子から出力するドルビーデジタル信号の方式を選びます。「デジタル音声出力」で「切」を選んでいるときは設定できません。

- **ダウンミックスPCM**：ドルビーデジタルの音声を再生すると2chにダウンミックスされます。出力される信号のサラウンド成分の有無は「ダウンミックス」の設定によって決まります。
- **ドルビーデジタル**：ドルビーデジタルデコーダーを内蔵したオーディオ機器につないで音を出すときに選ぶ。

ご注意

ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないだら、「オーディオ設定」の「ドルビーデジタル」を「ドルビーデジタル」に設定しないでください。誤って設定すると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーを破損したりすることがあります。

■ DTS

DIGITAL OUT 端子から出力するDTS信号の方式を選びます。「デジタル音声出力」で「切」を選んでいるときは設定できません。

- **切**：DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないでいるときに選ぶ。
- **入**：DTSデコーダーを内蔵しているオーディオ機器をつないでいるときに選ぶ。

ご注意

誤って設定すると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーを破損したりすることがあります。

- DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器につないでいないときはDTS音声を再生しないでください。DTS内蔵のオーディオ機器につながないと、DTS音声を聞くことはできません。
- CDのDTS音声を再生するときに、AUDIO OUT端子、5.1CH OUTPUT端子、PHONES端子から異音が出ることがあります。耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがないようにご注意ください。
- DVDのDTS音声を再生するとき、AUDIO OUT端子、5.1CH OUTPUT端子、PHONES端子から音が出ません。

CDのDTS音声を再生するときのご注意

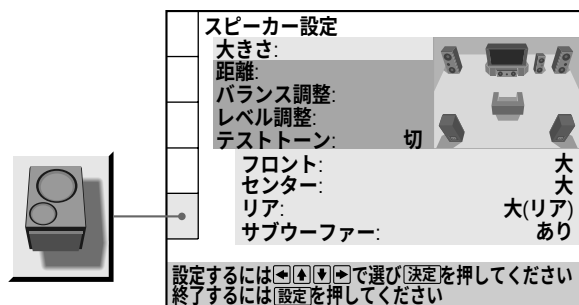
- DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器につないでいないときはDTS音声を再生しないでください。「DTS」を「切」に設定していても、DTS音声が耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーを破損したりします。
- デジタル端子からDTS音声を出力していても表示窓に「DTS」の表示は出ません。
- CDのDTS音声を再生するときは、コントロールメニュー画面の「AUDIO」は「ステレオ」に設定してください（34ページ）。「1/L」または「2/R」に設定していると、デジタル端子から音が出ません。

DVDのDTS音声を再生するときのご注意

- AUDIO OUT端子、PHONE端子からは音が出ません。
- DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器につないでいないときは、「DTS」を「入」に設定しないでください。「DTS」を「入」に設定すると、異音が出て耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーを破損したりします。
- 「DTS」を「切」に設定していると、DVDのDTS音声を再生してもデジタル端子から音が出ません。

スピーカーの設定をする (スピーカー設定)

設定ボタンを押したあと、「スピーカー設定」を選びます。ドルビーサラウンドを十分に楽しむために、つないだスピーカーの大きさと、リスニングポジションからスピーカーまでの距離を設定します。次にテストトーンを使って、各スピーカーの音量が同じレベルになるように調節します。お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。スピーカーの接続については、14～16ページをご覧ください。



■ 大きさ

つないだスピーカーの大きさを選びます。

・フロント

- 大：低域を十分に再生できる大きなスピーカーを接続した場合は「大」にする。通常は「大」にする。
- 小：音が歪んだり、サラウンド効果が不十分な場合は、「小」にする。低域変換回路が働き、フロントスピーカーの低域成分はサブウーファーから出力されます。

・センター

- なし：センタースピーカーを接続しない場合は「なし」にする。
- 大：低域を十分に再生できる大きなスピーカーを接続した場合は「大」にする。通常は「大」にする。
- 小：音が歪んだり、サラウンド効果が不十分な場合は、「小」にする。低域変換回路が働き、センタースピーカーの低域成分は他のスピーカーから出力されます。

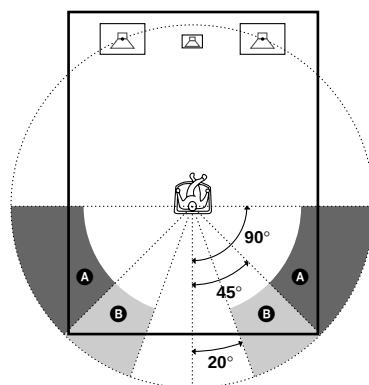
・リア

- なし：リアスピーカーを接続しない場合は「なし」にする。
- 大 (リア* / サイド*)：低域を十分に再生できる大きなスピーカーを接続した場合は「大」にする。通常は「大」にする。
- 小 (リア* / サイド*)：音が歪んだり、サラウンド効果が不十分な場合は、「小」にする。低域変換回路が働き、リアスピーカーの低域成分は他のスピーカーから出力されます。

・サブウーファー

- なし：サブウーファーを接続しない場合は「なし」にする。低域変換回路が働き、サブウーファーのLFE (低音増強) 信号は他のスピーカーから出力されます。
- あり：サブウーファーを接続した場合は「あり」にする。LFE (低音増強) 信号はサブウーファーから出力されます。

- * リアスピーカーの位置 (リア / サイド) について
コントロールメニュー画面の「VIRTUAL 3D SURROUND」の効果を楽しむために、リアスピーカーの位置を正しく設定してください。下図をご覧ください。



- ・リアスピーカーの位置がⒶの範囲にあれば、「サイド」に設定します。
- ・リアスピーカーの位置がⒷの範囲にあれば、「リア」に設定します。

この設定は「VIRTUAL REAR SHIFT」と「VIRTUAL MULTI REAR」を選んだときのみ効果があります (37ページ)。

ご注意

- ・大きさを選んだときは、音が一瞬途切れます。
- ・本機ではサブウーファーのカットオフ周波数は100Hzに固定されています。
- ・サブウーファー側のカットオフ周波数はできるだけ高くしてお使いください。
- ・他のスピーカーの設定によっては、サブウーファーから大音量が出ることがあります。
- ・ご使用のスピーカーで低音再生が十分にできない場合は、すべてのスピーカー設定を「小」に設定して、低音再生用にサブウーファーをお使いいただくことをおすすめします。

スピーカーの設定をする（スピーカー設定）

■ 距離

各スピーカーの距離は次のように設定します。なお、カッコ内の数値はお買い上げ時の設定値です。

- フロント（3.6m）
1m～15mの範囲で、0.2m刻みで設定できます。
- センター（3.6m）
フロントスピーカーから0.6m離れた距離からリスニングポジションに1.6m近い距離までの範囲で、0.2m刻みで設定できます。
- リア（3m）
フロントスピーカーと同じ距離からリスニングポジションに5m近い距離までの範囲で、0.2m刻みで設定できます。

ご注意

- 距離を選んだときは、音が一瞬途切れます。
- 両方のフロントスピーカーまたはリアスピーカーがリスニングポジションから同じ距離に設置されていない場合は、リスニングポジションに近いほうのスピーカーの距離を設定します。
- リアスピーカーをフロントスピーカーより遠くに設置しないでください。

■ バランス調整

各スピーカーのバランスは次のように調整します。なお、カッコ内の数値はお買い上げ時の設定値です。

- フロント（0dB）
-6dB（L）～+6dB（R）の範囲で、0.5dB刻みでフロントスピーカーの左と右のバランスを調整します。
- リア（0dB）
-6dB（L）～+6dB（R）の範囲で、0.5dB刻みでリアスピーカーの左と右のバランスを調整します。

■ レベル調整

各スピーカーのレベルは次のように調整します。なお、カッコ内の数値はお買い上げ時の設定値です。

- センター（0dB）
-6dB～+6dBの範囲で、0.5dB刻みでセンタースピーカーのレベルを調整します。
- リア（0dB）
-6dB～+6dBの範囲で、0.5dB刻みでリアスピーカーのレベルを調整します。
- サブウーファー（0dB）
-10dB～+6dBの範囲で、0.5dB刻みでサブウーファーのレベルを調整します。

■ テストトーン

各スピーカーから順番にテストトーンを聞くことができます。

- 切：テストトーンは出ない。
- 入：バランス、またはレベルを調整している間、調整しているスピーカーから順番にテストトーンが聞こえる。

ご注意

ディスクを再生しているときはテストトーンは出ません。



すべてのスピーカーの音量をいちどに変えるときはアンプの音量を調節します。



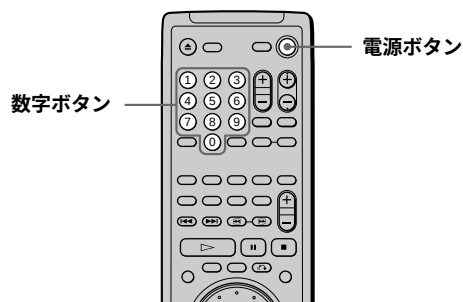
お買い上げ時の状態に戻すには項目を選んでクリアボタンを押します。

スピーカーの音量を調節する

- 1 停止中に、設定ボタンを押して「スピーカー設定」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 「テストトーン」を選び、「テストトーン」を「入」にする。
各スピーカーから順番にテストトーンが聞こえます。
- 3 すべてのスピーカーからのテストトーンが同じレベルに聞こえるように、↑/↓で「バランス調整」および「レベル調整」の設定を調節する。
調節している間は、調節しているスピーカーから同時にテストトーンが聞こえます。
- 4 調節が終わったら、「テストトーン」を「切」にして、テストトーンを消します。

付属のリモコンでテレビやアンプを操作する

リモコン信号をお手持ちのテレビのメーカーに合わせると、本機のリモコンでテレビのチャンネルや音量、電源を操作できます。お買い上げ時はソニー製の  マーク付きテレビを操作できるよう設定されています。またAVアンプに本機をつないでいるときは、本機のリモコンでアンプの音量を調節することもできます。



リモコンで各社のテレビを操作する

リモコンの電源ボタンを押したまま、テレビのメーカー番号(2桁)を数字ボタンで入力する。

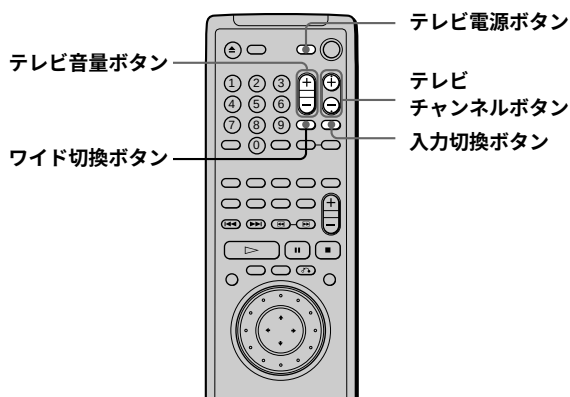
テレビのメーカー	メーカー番号
ソニー	01 (お買い上げ時の設定)、12
松下電器	02、13
東芝	03
日立製作所	04
三菱電機	05
日本ビクター	06
三洋電機	07、15
シャープ	08、16
NEC	09
パイオニア	10
富士通ゼネラル	11
フナイ	14
アイワ	17
三星電子 (SAMSUNG)	18

メーカー番号が2つ以上あるときは、順に試してテレビが操作できるものをお選びください。

ご注意

- メーカー番号を入力すると、それまでのメーカー番号は消えてしまいます。
- リモコンの電池を取り換えたときは、メーカー番号が自動的に01 (ソニー) に戻ることがあります。その場合は、メーカー番号をもう1度合わせ直してください。

以下のボタンでテレビの操作ができるようになります。



押すボタン	できること
テレビ電源	テレビの電源を入／切する。
入力切替	テレビの入力を切り換える。
ワイド切替	テレビのワイドモードを切り換える。
テレビ音量	テレビの音量を調節する。
テレビチャンネル	テレビのチャンネルを変える。

ご注意

テレビによってはメーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。

付属のリモコンでテレビやアンプを操作する

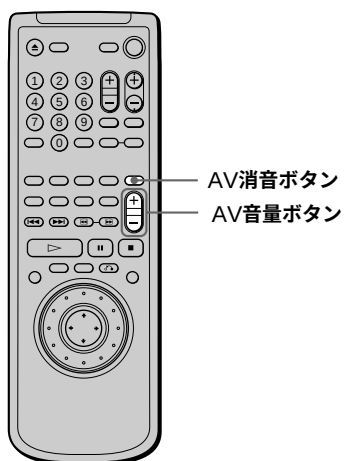
AVアンプを操作する

リモコンの電源ボタンを押したまま、本機をつないでいるAVアンプのメーカー番号（2桁）を数字ボタンで入力する。

AVアンプのメーカー	メーカー番号
ソニー	91（お買い上げ時の設定）、88、89
デンオン	84、85、86
ケンウッド	92、93
オンキヨー	81、82、83
パイオニア	99
山水電気	87
松下電器	97、98
ヤマハ	94、95、96

メーカー番号が2つ以上あるときは、順に試してAVアンプが操作できるものをお選びください。

AV消音ボタンとAV音量ボタンでAVアンプの音量を調節できるようになります。



ご注意

接続する機種によっては、AVアンプの音量が調節できないことがあります。

その他

この章では、本機をご使用になる上での参考として役立つ情報を説明しています。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

電源

電源が入らない。

- I/⏻ (電源) スイッチのランプが点灯していなければ、電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。

映像

映像が出ない。

- 接続コードのプラグがしっかり差し込まれていない。
- 接続コードが断線している。
- テレビの入力端子を間違えている (12ページ)。
- テレビの電源が入っていない。
- テレビの入力切換でCD/DVDプレーヤーの映像が映るようにしていない。

映像が乱れる。

- ディスクに汚れ、傷がある。
- 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続していると、一部のDVDプログラムに使用されているコピープロテクション信号が画質に悪影響を及ぼす可能性があります。本機をテレビに直接接続しているにもかかわらず画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子への接続をお試しください。(12ページ)
- コントロールメニュー画面の「VIDEO EQ」を「スタンダード」にする。(46ページ)

DVDのワイド画像を再生したときに、画像アスペクト比を変更できない。

- 画像アスペクト比が固定されているディスクを再生している。
- S映像出力をテレビに直接つないでいない。(本機とテレビの間にセレクターやAVアンプなどを接続している。)
- テレビによっては画像アスペクト比を変更できないものもあります。

表示窓に5桁のアルファベットと数字が表示されている。

- 自己診断機能が働いている。69ページの表にしたがって対応してください。

画面に英語でメッセージが表示される。

- 設定画面の「言語設定」の「画面表示言語」が「ENGLISH」になっている（53ページ）。

ビデオCDのメニュー画面が表示されない。

- PBC対応でないビデオCDを再生している。
- PBC対応のビデオCDで決められた操作をしていない。（ビデオCDの取扱説明書もあわせてご覧ください。）

音声

音が出ない。

- 接続コードのプラグがしっかり差し込まれていない。
- 接続コードが断線している。
- アンプの入力端子を間違えている（14ページ）。
- アンプまたはテレビの電源が入っていない。
- アンプの入力切換でCD/DVDプレーヤーの音声が出るようにしていない。
- 一時停止、スロー再生になっている。
- 早送り1、2/早戻し1、2になっている。
- スピーカーの接続を確認してください（14、61ページ）。お使いのアンプの説明書も合わせてご覧ください。
- ドルビーデジタルの音声をDIGITAL OUT端子から出力するときは、設定画面の「音声デジタル出力」を「入」に設定する（59ページ）。
- DTS音声を再生しているときは、AUDIO OUT端子、5.1CH OUTPUT端子、PHONES端子から音は出ません（59ページ）。

雑音が多い。

- ディスクに汚れ、傷がある。
- CDのDTS音声を再生しているとき、AUDIO OUT端子、5.1CH OUTPUT端子から雑音が出ます（59ページ）。

音がひずむ。

- 設定画面の「オーディオ設定」の「オーディオ ATT」を「入」にする。

ビデオCD、CDを再生したときに、音に奥行き感がなく、モノラルのように聞こえる

- コントロールメニュー画面で「AUDIO」を「ステレオ」にする。（34ページ）
- スピーカーの接続を確認してください。（12、14、16ページ）

ドルビーデジタルの音声トラックを再生しているのにサラウンド効果がかからない

- スピーカーの設定が正しくない（16、61ページ）。（接続している5.1ch入力端子付きAVアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。）
- ドルビーデジタルのディスクであっても5.1chすべてから出力されないもの（モノラルやL、Rステレオなど）もあります。

センタースピーカーからしか音が出ない

- ディスクによってはセンタースピーカーからしか音が出ないものもあります。
- コントロールメニュー画面の「VIRTUAL 3D SURROUND」で「OFF」または「VES A」、「VES B」以外を選んでいる（37ページ）。

フロントスピーカーからしか音が出ない

- リアスピーカーを接続しているのに、コントロールメニュー画面の「VIRTUAL 3D SURROUND」で「VES A」または「VES B」を選んでいる。他の項目を選んでください。（37ページ）

操作

リモコンで操作できない。

- リモコンと本体との間に障害物がある。
- リモコンと本体との距離が離れている。
- 本体のリモコン受光部に向けて操作していない。
- リモコンの電池が消耗している。

再生が始まらない。

- ディスクが入っていない。（テレビ画面に、「ディスクを入れてください」の表示が出ている。）
- ディスクが裏返しに入っている。（再生面を下にする。）
- ディスクが斜めにずれて入っている。
- ディスクに汚れ、傷がある。
- CD-ROMなどの、再生できないディスクを入れている（9ページ）。
- 本機で再生できない地域番号のDVDを入れている。（8ページ）
- 結露している。ディスクを取り出して電源を入れたままの状態約30分放置し、再度電源を入れ直してから再生を始める（10ページ）。

再生がディスクの最初から始まらない。

- リピート、シャッフル、プログラム再生になっている（39～43ページ）。
- 「リジューム再生」になっている。停止中に、本体またはリモコンの（停止）ボタンを押してから再生を始める（21ページ）。

- 自動的にタイトルメニュー、DVDメニュー、PBCのメニューの画面に入るディスクを入れている。

DVDのタイトルを選択しても、再生が始まらない。

- 視聴年齢制限の機能が働いている (56ページ)。

再生が自動的に始まる。

- 自動的に再生が始まるDVDを入れている。

再生が自動的に止まる。

- ディスクによってはオートポーズ信号が記録されているものがあります。このようなディスクを再生するときは、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。

ストップ、サーチ、スロー等の操作ができない。

- 操作を禁止しているディスクを再生している。ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。

プレイモードのいろいろな再生 (シャッフル再生、プログラム再生等) ができない。

- DVD、ビデオCDによってはできない場合があります。

音声言語を変更できない。

- 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。
- 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。

字幕を変更できない。

- 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。
- 字幕の変更を禁止しているDVDを再生している。

字幕を消すことができない。

- 字幕表示を消すことを禁止しているDVDを再生している。

アングルを変更して見るができない。

- 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。
- 表示窓の「ANGLE」が点灯していない場面で、アングルを切り換えている (36ページ)。
- アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。

正常に動作しない。

- 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源コンセントを抜き差しして、もう一度動作させてください。

表示窓に何も表示されない。

- 設定画面の「視聴設定」の「表示窓の明るさ」を「消」にしている。「明」または「暗」にする (55ページ)。

ディスクトレイが開かず、表示窓に「LOCKED」と表示される。

- お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、CD/DVDプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでお買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DVP-S707D
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 自己診断機能の状況：
- 故障したときに再生していたディスク：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

自己診断機能について（アルファベットで始まる表示が出たら）

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、表示窓にアルファベットと数字で5桁のサービス番号（例：C:13:00）が表示され、点滅します。その際は次のように対応してください。

サービス番号の 最初の3桁	これが原因です	次のことを確認してください
C13	ディスクが汚れている	柔らかい布でディスクを拭く（10ページ）
C31	ディスクが正しく入っていない	ディスクを正しく入れ直す
EXX（XXは任意の数）	異常を未然に防ぐため自己診断機能が働きました。	お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際はサービス番号の5桁すべてをお知らせください。 例：E6110

主な仕様

システム

形式	CD/DVDプレーヤー
信号方式	EIAJ標準、NTSCカラー方式

音声特性

周波数特性	DVD (PCM 96kHz再生時) : 2Hz~44kHz (±0.5dB) * DVD (PCM 48kHz再生時) : 2Hz~22kHz (±0.5dB) * CD : 2Hz~20kHz (±0.5dB) *
信号対雑音比 (S/N比)	115dB* (AUDIO OUT (1、2) 端子のみ)
全高調波ひずみ率	0.0018%*
ダイナミックレンジ	DVD : 103dB* CD : 100dB*
ワウ・フラッター	測定限界 (±0.001% W PEAK) 以下*

入出力端子

端子名	端子形状	最大出力レベル	負荷インピーダンス
AUDIO OUT (1,2)	ピンジャック	2Vrms (50kΩ)	10kΩ 以上
DIGITAL OUT (OPTICAL)	光出力コネクタ	-18dBm	発光波長 660nm
DIGITAL OUT (COAXIAL)	ピンジャック	0.5 V _{P-P}	75Ω 終端
VIDEO OUT (1、2)	ピンジャック	1.0V _{P-P}	75Ω 同期負
S VIDEO OUT (1、2)	4ピンミニ DIN	輝度信号 : 1.0V _{P-P} 色信号 : 0.286 V _{P-P}	75Ω 同期負 75Ω 終端
COMPONENT VIDEO OUT (Y, C _B /B-Y, C _R /R-Y)	ピンジャック	Y: 1.0V _{P-P} C _B /B-Y、C _R /R-Y : 0.7V _{P-P}	75Ω 同期負 75Ω 終端
PHONES	ステレオ標準ジャック	12mW (可変最大)	32Ω
5.1 OUTPUT	ピンジャック	1.6Vrms (50kΩ)	10kΩ 以上

電源、その他

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	18W
最大外形寸法	430×98×305mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約 4.0kg
許容動作温度	5~35℃
許容動作湿度	5~90%

付属品

11ページをご覧ください。

* EIAJ (日本電子機械工業会) の規格による測定値です。
96kHzPCM音声の測定はAUDIO OUT (1,2) 端子および 5.1OUTPUT (FRONT L,R) を使用。96kHzPCM音声はDIGITAL OUT (OPTICAL, COAXIAL) 端子からは 48kHzに変換されて出力されます。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語解説

視聴年齢制限 (55ページ)

国ごとの規制レベルに合わせて視聴年齢制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDの機能のひとつ。制限のしかたはDVDによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがある。

タイトル (9ページ)

DVDに記録されている映像や曲の区切りのいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（あるいは1曲）にあたります。それぞれのタイトルに順に付けられた番号をタイトル番号という。

チャプター (9ページ)

DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成され、それぞれのチャプターに順に付けられた番号をチャプター番号という。

デジタルシネマサウンド (DCS) (37ページ)

ソニーが開発したホームシアター用サラウンド技術のコンセプト名。従来の音楽演奏用の空間をベースとしたサラウンドとは違い、映画製作スタジオの音場をシミュレートした、「映画館の迫力を家庭で楽しむ」ためのサラウンドになっている。DCSにはさまざまなサラウンドプログラムが用意されている。たとえば、「VES (ヴァーチャル・エンハンスド・サラウンド)」は、フロントスピーカー2台のみで後方に複数のスピーカーを配置したかのようなサラウンドを楽しむことができる。

トラック (9ページ)

CDやビデオCDに記録されている、映像や曲の区切り（1曲分）のこと。それぞれのトラックに順に付けられた番号をトラック番号という。

ドルビーデジタル (16、37ページ)

ドルビー社の開発した音声のデジタル圧縮技術であり、5.1チャンネル・サラウンドに対応している。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションがよく、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

ドルビープロロジック (38、59ページ)

ドルビー社がサラウンド音声のために開発した音声信号の処理技術。入力信号にサラウンド信号があるとき、プロロジック処理をして、フロント、センター、リアに信号を出力する。リアチャンネルはモノラルになる。

DTS (13ページ)

デジタルシアターシステム社の開発した音声のデジタル圧縮技術であり、5.1チャンネル・サラウンドに対応している。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションがよく、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

ビットレート (44ページ)

DVDに圧縮して記録されている画像と音声の、1秒あたりの情報量を示す値。単位は画像の場合Mbps (Mega bit per second) で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000ビットであることを表す。音声の場合の単位はKbps (Kilo bit per second)。

この値が大きいくほど情報量は多くなるが、必ずしも画質や音質とは直接関係しない。

ビデオCD (8ページ)

動画の記録されているCD。

ビデオCDでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG1」(エムペグ1)を使うことにより、映像情報を平均約140分の1に圧縮している。これにより、12cmのディスクに最大74分までの動画を記録できる。

また、音声情報についても、人間には基本的には聴こえない音声を圧縮して記録し、従来の音楽用CDと比較すると、音声情報も約6分の1に圧縮している。

ビデオCDには、動画や音声の再生だけが可能なバージョン1.1と、高精細の静止画の再生やPBC (プレイバックコントロール) 機能を持ったバージョン2.0がある。

マルチアングル (36ページ)

DVDの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えて複数のアングル (カメラの位置) で記録されていること。

マルチランゲージ (35、53ページ)

DVDの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕が複数の言語で記録されていること。

プレイバックコントロール (PBC) (23ページ)

ビデオCD (バージョン2.0) に記録されている、再生をコントロールするための信号。

PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面 (選択画面) を使って、簡単な対話型のソフトや、検索機能を持ったソフトなどを楽しめる。

DVD (8ページ)

CDと同じ直径で、最大8時間までの動画が記録できるディスク。

片面1層で4.7GB (Giga Byte) とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できる。

画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」(エムペグ2)を採用し、映像データを約1/40 (平均) に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声を楽しめる。またマルチアングル、マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

言語コード一覧表 (くわしくは35、53ページをご覧ください。)

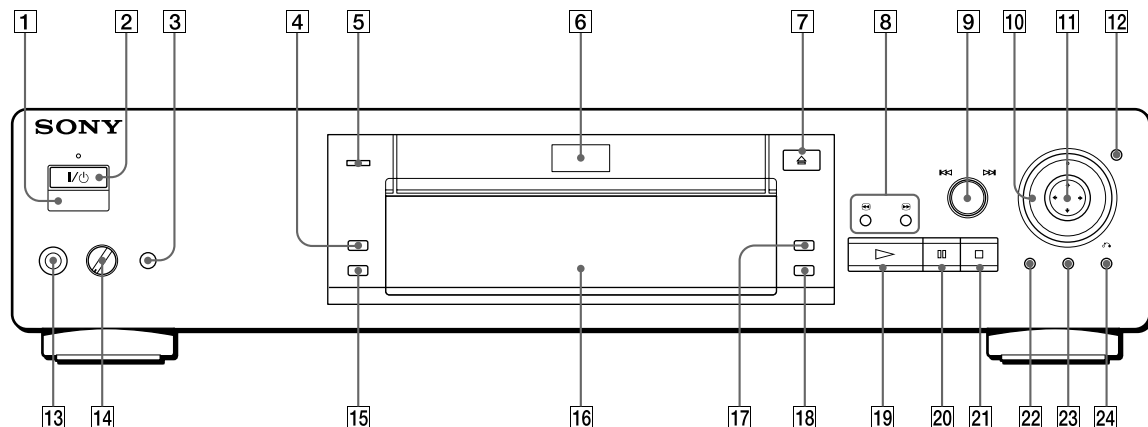
言語名表記はISO639:1988 (E/F) に準拠

コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	Afar	1257	Hebrew	1506	Slovenian
1028	Abkhazian	1261	Japanese	1507	Samoan
1032	Afrikaans	1269	Yiddish	1508	Shona
1039	Amharic	1283	Javanese	1509	Somali
1044	Arabic	1287	Georgian	1511	Albanian
1045	Assamese	1297	Kazakh	1512	Serbian
1051	Aymara	1298	Greenlandic	1513	Siswati
1052	Azerbaijani	1299	Cambodian	1514	Sesotho
1053	Bashkir	1300	Kannada	1515	Sundanese
1057	Byelorussian	1301	Korean	1516	Swedish
1059	Bulgarian	1305	Kashmiri	1517	Swahili
1060	Bihari	1307	Kurdish	1521	Tamil
1061	Bislama	1311	Kirghiz	1525	Telugu
1066	Bengali; Bangla	1313	Latin	1527	Tajik
1067	Tibetan	1326	Lingala	1528	Thai
1070	Breton	1327	Laothian	1529	Tigrinya
1079	Catalan	1332	Lithuanian	1531	Turkmen
1093	Corsican	1334	Latvian; Lettish	1532	Tagalog
1097	Czech	1345	Malagasy	1534	Setswana
1103	Welsh	1347	Maori	1535	Tonga
1105	Danish	1349	Macedonian	1538	Turkish
1109	German	1350	Malayalam	1539	Tsonga
1130	Bhutani	1352	Mongolian	1540	Tatar
1142	Greek	1353	Moldavian	1543	Twi
1144	English	1356	Marathi	1557	Ukrainian
1145	Esperanto	1357	Malay	1564	Urdu
1149	Spanish	1358	Maltese	1572	Uzbek
1150	Estonian	1363	Burmese	1581	Vietnamese
1151	Basque	1365	Nauru	1587	Volapük
1157	Persian	1369	Nepali	1613	Wolof
1165	Finnish	1376	Dutch	1632	Xhosa
1166	Fiji	1379	Norwegian	1665	Yoruba
1171	Faroese	1393	Occitan	1684	Chinese
1174	French	1403	(Afan)Oromo	1697	Zulu
1181	Frisian	1408	Oriya		
1183	Irish	1417	Punjabi		
1186	Scots Gaelic	1428	Polish	1703	無指定
1194	Galician	1435	Pashto; Pushto		
1196	Guarani	1436	Portuguese		
1203	Gujarati	1463	Quechua		
1209	Hausa	1481	Rhaeto-Romance		
1217	Hindi	1482	Kirundi		
1226	Croatian	1483	Romanian		
1229	Hungarian	1489	Russian		
1233	Armenian	1491	Kinyarwanda		
1235	Interlingua	1495	Sanskrit		
1239	Interlingue	1498	Sindhi		
1245	Inupiak	1501	Sangho		
1248	Indonesian	1502	Serbo-Croatian		
1253	Icelandic	1503	Singhalese		
1254	Italian	1505	Slovak		

各部のなまえ

詳しい説明は（ ）内のページをご覧ください。

本体前面



1 ㊄ (リモコン受光部) (11)

リモコンからの信号を受信する。

2 I/O (電源) スイッチとランプ (18)

電源を入/切するときに押す。

バーチャル スリーディ サラウンド

3 VIRTUAL 3D SURROUNDボタンとランプ (37)

「VIRTUAL 3D SURROUND」の項目を選ぶときに押す。ボタンを押すたびに項目が切り換わります。ランプは「VIRTUAL 3D SURROUND」を「切」に設定していないときに点灯します。

シャッフル

4 SHUFFLE (シャッフル) ボタン (41)

シャッフル画面をテレビ画面に出したいときに使う。

ドルビー デジタル

5 DOLBY DIGITALランプ (37)

次のときに点灯します。

- ドルビーデジタル音声を再生中
- ディスクが入っていないとき

6 ディスクトレイ (18)

再生するディスクを入れる。

オープン クローズ

7 ㊄ OPEN/CLOSE (開/閉) ボタン (18)

ディスクトレイを出し入れするときに押す。

8 ㊄/㊄ サーチボタン (20)

場面や曲を探すときに押す。

プレビウス ネクスト

9 ㊄/㊄ PREV (前) / NEXT (次) (ダイレクトサーチダイヤル) ボタン (19)

回して場面や曲を選び、押して選んだ場面や曲に進める。

10 クリックシャトル (20)

主に速さを変えながら再生したいときに使う。

エンター

11 ㊄/㊄/㊄/㊄ ENTER (決定) ボタン

画面に表示されている項目を選ぶときに使う。

ジョグ

12 JOGボタンとランプ (20)

速さを変えてコマ送りで再生したいときに押す。

ホーン

13 PHONES (ヘッドホン) 端子 (18)

ヘッドホンをつなぐ。

ホーン レベル

14 PHONE LEVEL (ヘッドホン音量) つまみ (18)

ヘッドホンの音量を調節する。

プログラム

15 PROGRAM (プログラム) ボタン (39)

プログラム画面をテレビ画面に出したいときに使う。

16 表示窓 (24)

再生時間などを表示する。

リピート

17 REPEAT (くり返し) ボタン (42)

リピート再生画面をテレビ画面に出したいときに使う。

クリア

18 CLEAR (クリア) ボタン (40、41、42)

主にリピート再生や、シャッフル再生、プログラム再生時に通常の再生に戻したいときに使う。

プレイ

19 ㊄ PLAY (再生/セレクト) ボタン (18)

再生するときに押す。

ポーズ

20 ㊄ PAUSE (一時停止) ボタン (19)

再生を一時停止するときに押す。

ストップ

21 ㊄ STOP (停止) ボタン (19、21)

再生を止めるときに押す。

タイトル

22 TITLE (タイトル) ボタン (22)

タイトルメニューを出すときに押す。

ディーファイディーメニュー

23 DVD MENU (DVDメニュー) ボタン (23)

DVDメニューを出すときに押す。

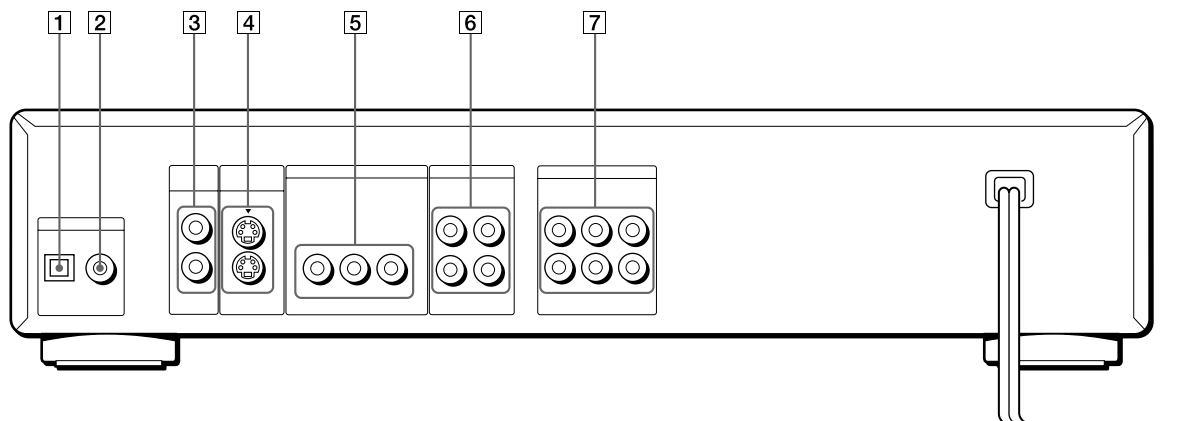
リターン

24 ㊄ RETURN (リターン) ボタン (23、27)

主にひとつ前の選択画面に戻りたいときに押す。

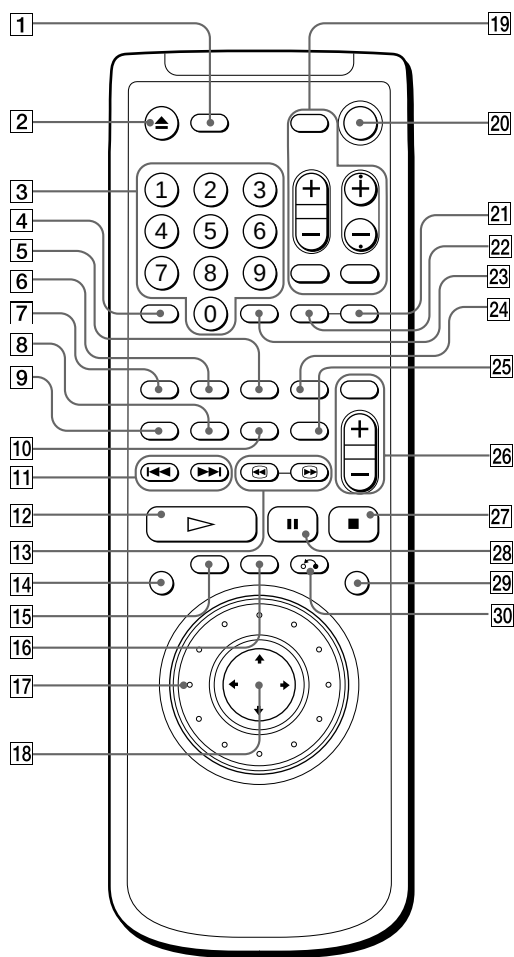
各部のなまえ

本体裏面



- デジタル アウト オプティカル
- 1 DIGITAL OUT(OPTICAL) (音声デジタル出力 (光))
端子 (15)
光デジタル接続コードでオーディオ機器とつなぐときに使う。
- デジタル アウト コアキシャル
- 2 DIGITAL OUT(COAXIAL) (音声デジタル出力 (同軸))
端子 (15)
同軸デジタル接続コードでオーディオ機器とつなぐときに使う。
- ビデオ アウト
- 3 VIDEO OUT (1、2) (映像出力) 端子 (12)
テレビやモニターの映像入力端子とつなぐときに使う。
- エス ビデオ アウト
- 4 S VIDEO OUT (1、2) (S映像出力) 端子 (12、14)
テレビやビデオのS映像入力端子とつなぐときに使う。
- コンポーネント ビデオ アウト
- 5 COMPONENT VIDEO OUT (コンポーネントビデオ出力) 端子 (13)
本機の出力信号に対応したコンポーネントビデオ入力端子 (Y、CB/B-Y、CR/R-Y) のあるテレビやプロジェクターにつなぐときに使う。
- オーディオ アウト
- 6 AUDIO OUT (1、2) (音声出力) 端子 (12、14)
テレビやアンプの音声入力端子とつなぐときに使う。
- チャンネル アウトプット
- 7 5.1CH OUTPUT端子 (17)
5.1ch入力対応アンプとつなぐときに使う。

リモコン



- 1 **設定ボタン** (50)
設定画面の項目を設定/調整するときに使う。
- 2 **△開／閉ボタン** (18)
ディスクトレイを出し入れするときに押す。
- 3 **数字ボタン**
画面に表示されている項目を選ぶときに使う。
- 4 **クリアボタン** (40、41、42)
選んだ数字を取り消すときに使う。
- 5 **くり返しボタン** (42)
リピート画面をテレビ画面に出したいときに使う。
- 6 **プログラムボタン** (39)
プログラム画面をテレビ画面に出したいときに使う。
- 7 **シャッフルボタン** (41)
シャッフル画面をテレビ画面に出したいときに使う。
- 8 **アングルボタン** (36)
DVDのアングルを切り換えるときに押す。
- 9 **音声ボタン** (33)
DVDやビデオCDの音声を切り換えるときに押す。

- 10 **字幕ボタン** (35)
DVDの字幕を切り換えるときに押す。
- 11 **◀◀ (前) / ▶▶ (次) ボタン** (19)
前の場面や曲に戻したり、次の場面や曲に進めたりするときに押す。
- 12 **▷ (再生/セレクト) ボタン** (18)
再生するときに押す。
- 13 **◀▶ (サーチ) ボタン** (20)
場面や曲を探すときに押す。
- 14 **画面表示ボタン** (26)
コントロールメニュー画面を表示させるときに押す。
- 15 **タイトルボタン** (22)
タイトルメニューを出すときに押す。
- 16 **DVDメニューボタン** (22)
DVDメニューを出すときに押す。
- 17 **クリックシャトル** (20)
主に速さを変えながら再生したいときに使う。
- 18 **← / ↑ / ↓ / → / 決定ボタン**
画面に表示されている項目を選ぶときに使う。
- 19 **テレビ操作ボタン** (63)
テレビを操作するときに使う。
- 20 **電源ボタン** (18)
本機の電源を入/切するときに押す。
- 21 **時間／テキストボタン** (24)
表示窓に再生時間などを表示させるときに押す。
- 22 **入力ボタン** (33)
ディスクに名前をつけるときに押す。
- 23 **決定ボタン**
選んだ項目を決定するときに押す。
- 24 **ピクチャーメモリーボタン** (54)
画像を記憶させるときに使う。
- 25 **ブックマークボタン** (49)
ブックマークを登録するときに使う。
- 26 **アンプ操作ボタン** (64)
AVアンプを操作するときに使う。
- 27 **■ (停止) ボタン** (19、21)
再生を止めるときに押す。
- 28 **⏏ (一時停止) ボタン** (19)
再生を一時停止するときに押す。
- 29 **ジョグボタンとランプ** (20)
コマ送りするときに押す。
- 30 **⌂ (リターン) ボタン** (23、27)
ひとつ前の選択画面に戻りたいときに押す。

索引

五十音順

あ行

アングル切り換え 36
安全のために 2、4
お手入れ 10
オーディオ設定 58
オーディオフィルター 58
オーディオATT 58
オーディオDRC 58
音声切り換え 34
音声デジタル出力 59

か行

画面設定 54
言語設定 53
故障かな？と思ったら 65
コントロールメニュー画面 26

さ行

サーチ 19、20
再生
 シャッフル再生 41
 速さを変えて再生 20
 ふつうの再生 18
 プログラム再生 39
 リピート再生 42
再生できるディスク 8
視聴設定 55
視聴年齢制限 56
自動再生 55
字幕
 切り換え 35
 表示 35
シャッフル再生 41
シーン 9、29
スクリーンセーバー 54
スタートアップ画面 54
スピーカー
 接続 16
 調整 61
スピーカー設定 61
スロー 20
接続 12、14、16

設定画面 50
項目一覧表 52

た行

タイトル 9、29、71
タイトルメニュー 22
チャプター 9、29、71
ディスク
 入れる 18
 取り扱い 10
ディスクメモ 32
デジタルシネマサウンド (DCS)
 37、71
テストトーン 62
電池 11
トラック 9、29、71
ドルビーデジタル 16、37

は行

バーチャル3Dサラウンド 37
背景画面 54
早送り 20
早戻し 20
バランス調整 62
ビデオCD 8、71
表示窓 24
表示窓の明るさ 55
ふつうの再生 18
ブックマークリセット 55
プレイバックメモリー 56
プログラム再生 39
プロロジック 71

ら行

リジューム再生 21
リピート再生 42
リモコン 11、63

アルファベット／数字順

A↔Bリピート 43
A-B REPEAT 43
ADVANCED 44
ANGLE 36
ANGLE VIEWER 47
AUDIO 34
BOOKMARK 49
CD 8
CHAPTER 29
CHAPTER VIEWER 48
DCS 37、71
DNR 46
DTS 60
DVD 8、71
DVDメニュー 23
INDEX 29
PBC再生 23
PROGRAM 39
REPEAT 42
S映像出力 12、14
SCENE 29
SHUFFLE 41
STROBE PLAYBACK 48
SUBTITLE 35
TIME/MEMO 30、31
TIME/TEXT 30、31
TITLE 29
TITLE VIEWER 48
TRACK 29
TRACK VIEWER 48
TVタイプ 54
VES 37
VIDEO EQ 46
VIRTUAL 3D SURROUND 37
16:9 54
4:3パンスキャン 54
4:3レターボックス 54
5.1チャンネルサラウンド 16、37

Sony  line

<http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上の
ソニーのエレクトロニクスとエンター
テインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan

保証期間中の接続・操作・故障に関するお問い合わせは
テクニカルインフォメーションセンターへ
フリーダイヤル 0120-37-8154

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様相談センターへ

● ナビダイヤル……………  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は……… 03-5448-3311

● Fax …………… 0466-31-2595

受付時間：
月～金
9:00～20:00
土・日・祝日
9:00～17:00